トラックスケール・インジケータ

AD-4352

取 扱 説 明 書

株式会社エー・アンド・デイ

1WMPD4002424A

ご注意

（１） 本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
（２） 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
（３） 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
（４） 当社では、本機の運用を理由とする損失、損失利益等の請求については、（３）項にかかわらずいかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

目次

1 はじめに

1-1　概要

本器　ＡＤ４３５２は、１２.１インチカラー液晶タッチパネルを採用した、アナログロードセル対応のトラックスケールインジケータです。
画面表示にカラー液晶を使用し､見やすく長寿命で対話形式により､操作しやすくなっています。
また、音声ガイダンスを標準装備しているので、車両の乗車や計量操作のサポートを、音声で促すことが可能です。

外付けの伝票プリンタは、以下の２種をオプションで用意しています。
・AD-4352-30　A タイプ：カード式プリンタ（単票）
・AD-4352-31　B タイプ：発行式プリンタ　（連続紙）

1-2　使用上の注意

- 本器は精密電子機器なので、取り扱いには充分注意してください。
- タッチパネルは指先で操作するため、手袋などは外してください。
  また故障の原因となるボールペンやシャープペンなど､先端が**固いもの**や**とがったもの**は使用しないでください。
  市販のタッチペンの利用は可能ですが､強く押し付けてこするような故障や破損の恐れがある使い方は、しないでください。
- 使用温度範囲は０℃～４０℃以内です。本器、及び伝票プリンタは直射日光のあたらない場所に設置してください。特にカード式プリンタは、用紙の有／無を検出するフォトセンサーが、誤動作する原因となります。
- 使用する電源は誤動作を避けるため、安定した電源をご使用ください。
  不安定な電源（瞬停やノイズを含むもの）を使用すると、誤動作する恐れがあります。
- ロードセルからの出力電圧は非常に微弱です。接続するケーブルは、パルス成分を含むノイズ源の影響を避けるため、できるだけ離してください。
- 伝票用プリンタは外付けとなります。付属のシリアルケーブルで接続してください。
  プリンタの仕様内容はカード式（単票）／発行式（連続紙)、それぞれのプリンタの取扱説明書を参照してください。
- 取引証明に使用する計量伝票は、車番、総重量、空車重量、正味重量、また補正機能を有するときにはその補正内容（水分補正）など、印字データが何を示すのかが明確に印刷された用紙を必ずご使用ください。
- 本器は、トラックスケール用インジケータなので、単価を使用して計量伝票に金額を印字することは問題ありませんが､料金はかりなどの指示計には使用できないことを留意してください。

2 本体仕様内容

2-1　基本仕様

一般仕様	
電源電圧	AC100V(50/60Hz)
消費電力	本器のみ　フルオプション　　約 30VA
時計機能バックアップ電源	データ保持期間　約 10 年（コイン電池使用）
使用温度	0℃～40℃
使用湿度	85% R.H.以下（結露なきこと）
質量	約 4.3kg（指示計スタンド付フルオプションにて）
外形寸法	324(W)×105(D)×262(H) mm
スタンド	標準装備
表示部	
パネル種類	TFT カラー液晶
画面サイズ	12.1 インチ
解像度	800×600 (SVGA)
バックライト	LED
計量値表示部	5 桁表示　文字寸法：23mm(H)×15mm(W)
輝度半減期	約 5 万時間
タッチパネル	4 線式抵抗膜方式

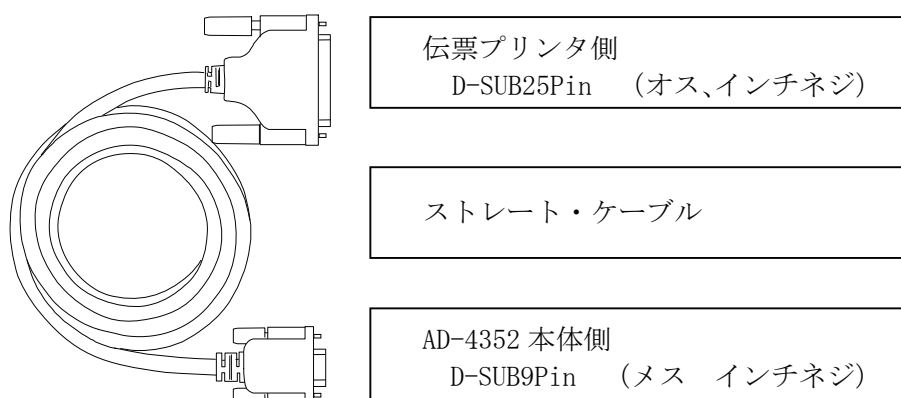
メモリ		
日計元帳件数	10000 件	内蔵フラッシュメモリ
車番登録件数	4000 件	
項目名称登録件数	1000 件×4	
補正登録件数	1000 件×3	
滞留車件数	500 件	

音声ガイダンス	
標準装備	
付　属　品	
AC 電源ケーブル（1K0115）	1 本
設置アダプタ（1ET9102）	1 個
ヒューズ（1FSEAK-3.15A）	1 個
ロードセル用コネクタ（(1JMNR-207-PM)）	1 個
カレント出力コネクタ（1JATCP0576）	1 個
入出力用コネクタ（コネクタ：1JI361J024-AG、コネクタカバー：1JI360C024-B）1 個	
RS-422/485 (D-SUB9Pin：1JA17JE-23090)	1 個
SD カード(128M)　　(出荷時に本体装着済み：内部使用)	
取扱説明書（本書 1 部）	

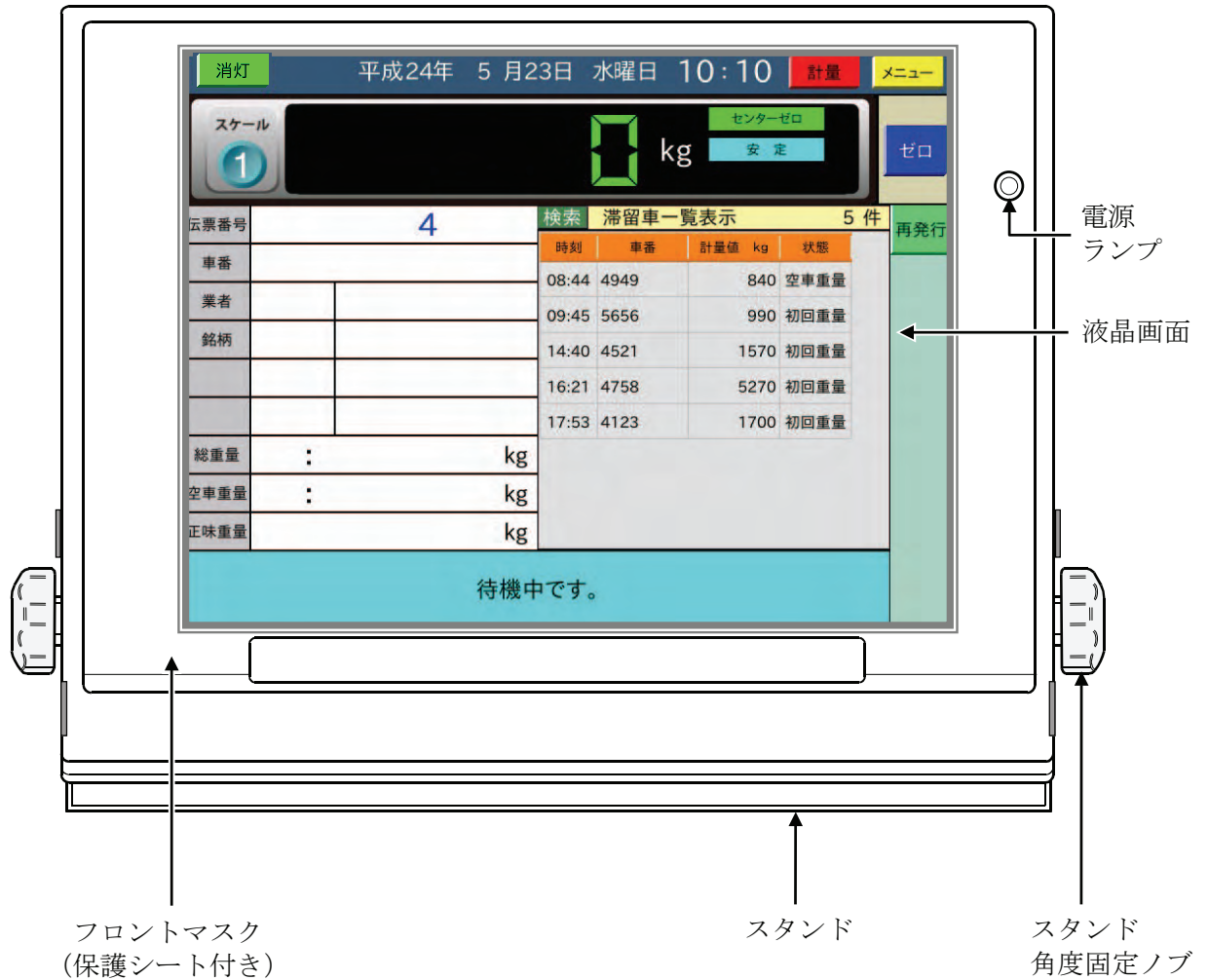
オプション	
AD-4352-01	増設 AD ボード
AD-4352-03	RS-232C
AD-4352-09	カレントループ入力
AD-4352-30	カード式プリンタ（単票） 接続ケーブル ＊１ プリンタ本体：EPSON：TM-U590AC アダプタ：PS-180 AC 電源ケーブル：1K0115 外形と質量 252(W)×266(D)×185(H) mm 約 5kg 消費電力 70VA
AD-4352-31	発行式プリンタ（連続紙） 接続ケーブル ＊１ プリンタ本体：スター精密：SP322SSD40-100J1 外形と質量 175(W)×303(D)×196(H) mm 約 3.1kg 消費電力 60VA
AD-4352-32	USBーテンキー

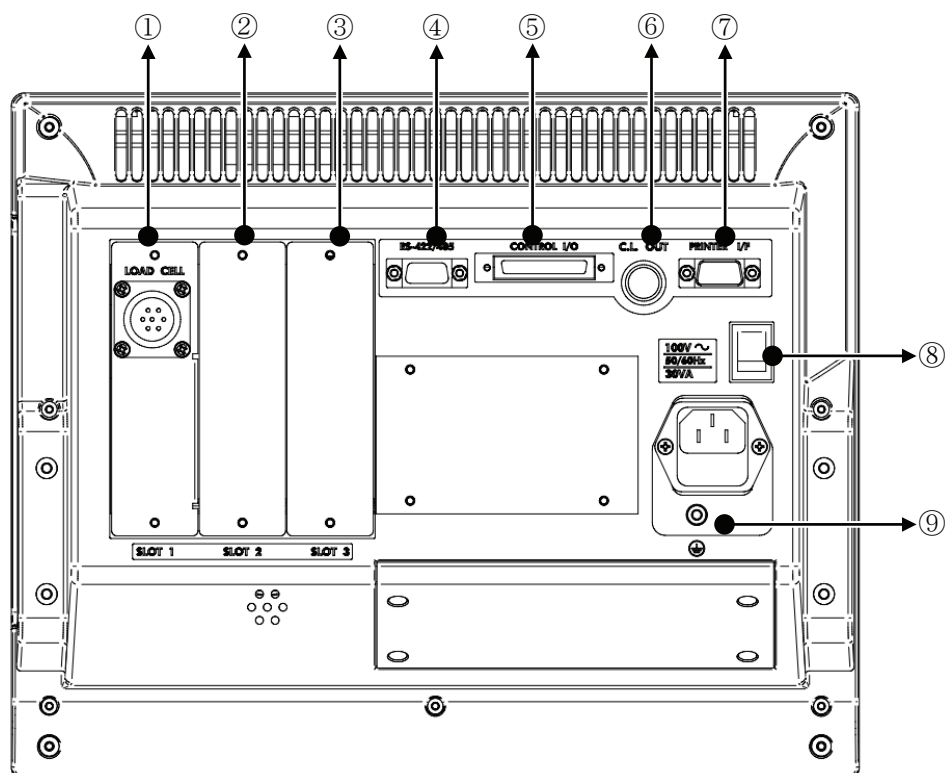
アクセサリー
インクリボン　カード式プリンタ：AX-ERC-31B-S（5 本） 発行式プリンタ　：AX-RC300P-S（5 本）
パンチカード（18 桁　AX-B43658A-S：50 枚セット）
集計・登録印字用　白紙用紙 カード式プリンタ：市販の白紙用紙(A4)などのご購入による対応をお願いします。 発行式プリンタ　：AX-PP153（1 束）

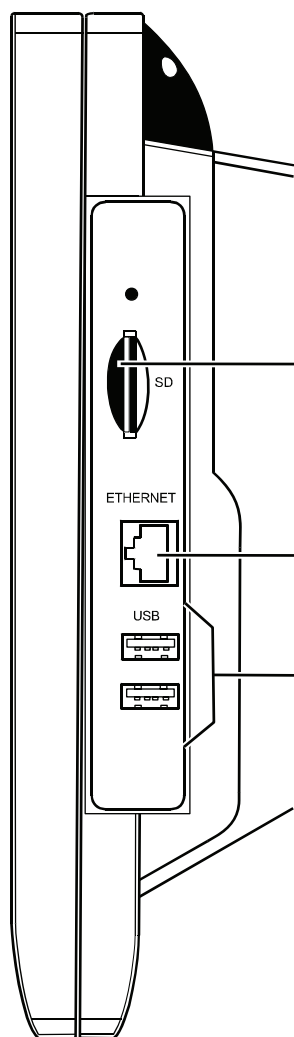
＊１ 接続はプリンタに附属のシリアルケーブルで接続か、市販のケーブルをご利用ください。
（オプションのプリンタに附属するシリアルケーブル型番：AX-KO1710-200）

プリンタ接続ケーブル仕様

3 本体構成

3-1　フロントパネル

本器フロントパネル

3-2　リアパネル

本器リアパネルとインターフェイス

番号	機　能
①	スロット１：スケール１用 標準 AD ボードもしくは OP-09(カレントループ入力)
②	スロット２：オプション用
③	スロット３：オプション用
④	RS-422/485　周辺機器用インターフェイス
⑤	コントロール I/O　信号灯などのコントロール入出力用インター フェイス
⑥	外部表示器用カレントループ・インターフェイス
⑦	伝票プリンタ専用インターフェイス
⑧	電源スイッチ
⑨	アース端子：誤動作を防ぐために大地アースをとってください。AC 電 源ケーブルでアースが接続される場合には不要です。 接地はＤ種接地、単独アースに接続し、電力機器系の アースとは共有しないように、注意願います。

3-3　サイドパネル

その他
音声ガイダンス機能を標準装備しています。

4 計量モード

4-1　スタート画面

本器電源を立ち上げると、プログラムバージョンと伝票プリンタのタイプとを表示します。
（伝票プリンタ：A タイプ＝カード式（単票）、B タイプ＝発行式（連続紙））
現在の伝票番号が表示された、伝票番号入力のダイアログが表示されます。
伝票番号を変更するときは、伝票番号を入力して ［設定］ ボタンを押します。
変更しないときは、そのまま ［設定］ ボタンを押します。
［設定］ ボタンを押すと、表示が計量画面に替わります。
計量機能設定で起動時の伝票番号を無しに設定すると､伝票番号入力ダイアログを表示しないで計量画面に替わります。
伝票番号は起動後に基本機能設定で変更できます。
入力した伝票番号がすでに存在する場合には現在の連番の伝票番号で立ち上がります。

伝票番号入力ダイアログ

トラックスケール　Aタイプ

伝票番号

4

7	8	9	後退
4	5	6	消去
1	2	3	閉じる
0			設定

伝票番号を入力して下さい。

変更しない場合は設定ボタンを押して下さい。

計量（待機中）画面

消灯　平成24年　5 月23日　水曜日　10：10　計量　メニュー

スケール 1　0 kg　センターゼロ　安定　ゼロ

伝票番号　4
車番
業者
銘柄
総重量　：　kg
空車重量　：　kg
正味重量　kg

検索　滞留車一覧表示　5 件　再発行

時刻	車番	計量値 kg	状態
08:44	4949	840	空車重量
09:45	5656	990	初回重量
14:40	4521	1570	初回重量
16:21	4758	5270	初回重量
17:53	4123	1700	初回重量

待機中です。

待機中の時には ［再発行］ ボタンを表示します。計量画面よりメニューの再発行モードに移行するボタンです。
また滞留車一覧表示を行います。

4-2　計量画面

1：重量表示部		
	スケール切替ボタン	現在のスケールを表示し、スケール1／2の切り替えを行います。
	重量表示	現在の重量値をｋｇまたはｔを付けて表示します。
	状態表示	上から センターゼロ／安定／オーバーロード とそれぞれの条件を満たしたときに表示します。
	センターゼロ	重量値が真のゼロのときに表示します。
	安定	重量値が安定すると表示します。
	オーバーロード	重量値がひょう量＋９目以上でブランクします。
	マイナスオーバー	重量値が－２０目以下では単位表示のみで重量表示も状態表示も行いません。単位以外は全てブランクとなります。
2：共通表示部		
消灯	バックライトOFFボタン	液晶画面のバックライトをOFFします。トラックの乗車または画面のどこかを押せば画面表示します。
ロック	キーロックボタン	計量画面でのタッチパネルの操作を禁止します。再度押すとロックが解除され、タッチパネルの操作が可能になります。ロック状態でも、バックライトOFFボタン、計量 ボタン、ゼロ ボタンは有効です。
	日付・時刻表示	現在の日付・時刻を表示します。年の表示は和暦／西暦で切り替え可能です。
計量	計量ボタン	トラック未乗車でも車番入力待ちにして計量可能にします。計量画面以外では操作中の動作を中断して計量画面を表示します。
メニュー	メニューボタン	メニュー画面を表示します。キーロックされている場合には、キーロックを解除する必要があります。
ゼロ	ゼロボタン	設定された条件の範囲内で重量表示をゼロにします。
3：計量伝票表示部		計量伝票発行のためのデータを表示します。
4：メッセージ表示部		本器を操作するためのメッセージを表示します。
5：操作ボタン表示部		本器を操作するためのボタンを表示します。ボタンは操作が有効なときのみ表示します。

この他、エラー発生時など画面中央にダイアログを表示します。

伝票データの最大桁数

項目	最大桁数	入力範囲	オーバー時の処理
伝票番号	４桁	1～9999　＊	
車番	８文字	0～9、A～Z	
項目コード	５桁	0～99999	
名称	１４文字	表示のみ	
総重量	６桁(小数点含)	0～99999　＊	
空車重量	６桁(小数点含)	0～99999	
正味重量	６桁(小数点含)	表示のみ	
重量引重量	６桁(小数点含)	0～99999	
重量引個数	２桁	0～99	
水分引	４桁	0～100	
補正後正味	６桁(小数点含)	表示のみ	
比重	４桁(小数点含)	0.01～9.99	
容積	６桁(小数点含)	表示のみ	負の値または桁数オーバーは――表示
単価	６桁(小数点含)	0～99999	
消費税	２桁	表示のみ	
金額	１０桁(小数点含)	表示のみ	負の値または桁数オーバーは――表示
累計回数	５桁		負の値または桁数オーバーは――表示
累計重量	１０桁(小数点含)		負の値または桁数オーバーは――表示
累計金額	１３桁(小数点含)		負の値または桁数オーバーは――表示

・ 伝票番号は伝票発行後に＋１されます。伝票番号が９９９９の場合は１になります。
・ 車番は０～９までの数字とモードボタンを押すことにより、Ａ～Ｚの入力が可能です。
・ 項目コードの０入力は未入力となり、伝票発行時に印字しません。
・ 正味重量は､総重量､空車重量の大きい方から小さい方を引いた値なので､必ず正の値になります。
・ ＊印は伝票追加発行でのみ入力可となり、通常の計量時は表示のみです。

4-3　計量の種類

以下の計量が可能です。

１回計量	車番登録で登録された空車重量を使用して計量します。
２回計量	総重量、空車重量をそれぞれ計量して、正味重量を算出します。
空車、総重 ボタンのみでの印字	車番入力待ちでダイアログを閉じてから 空車、総重 ボタンを押すと、それぞれの重量値を印字します。

計量データの入力は以下の方法があります。

ダイアログから	ダイアログ内の数字または文字のボタンを押すことにより入力します。
ＵＳＢテンキーから	ＵＳＢテンキーの数字ボタンを押すことにより入力します。
パンチカードから	ＡＤ－４３８５接続時にパンチカード挿入により入力します。 **※ パンチカード挿入時には 印字 ボタン、設定完了 ボタン等の操作は不要となり、カード挿入のみで計量可能です。**

（ＵＳＢテンキーのみでの伝票発行）

ＵＳＢテンキーボードは以下のように対応するボタンが割り当てられています。
これらの 設定完了、印字 ボタンなどを押すことで、ＵＳＢテンキーのみで伝票発行まで操作することができます。

ゼロ	計量	入戻	後退
7	8	9	空車
4	5	6	総重
1	2	3	設定完了
0		印字	

①： Tab → ゼロ
②： ／ → 計量
③： ＊ → 入力戻り
④： BS → 後退
⑤： － → 空車
⑥： ＋ → 総重
⑦： del → 印字
⑧： Enter → 設定完了

計量伝票には以下の種類があります。

標準書式	一般的な計量伝票向けの書式です。
作成書式	印字項目の位置を自由に設定できる書式です。 ５種類の書式が登録可能で初期値として標準書式の値が入っています。

重量値の取り込みには以下の種類があります。

ロードセル入力	標準Ａ／Ｄボードからロードセルの出力をＡ／Ｄ変換して取り込みます。
カレントループ入力	カレントループ入力ボード（ＯＰ－０９）から指示計のカレントループ出力を取り込みます。

4-4　１回計量

１回計量の計量手順は､空車重量を予め車番で登録しておく場合と計量画面より空車重量を入力する２種類になります｡

１．車番登録されている場合

トラックが乗車すると以下の画面となり、車番入力待ちになります。

ここで、ダイアログ内の 数字 ボタンを押すことにより車番の文字列を左から入力します。
モード ボタンを押すと、英大文字のＡ～Ｚの入力が可能になります。
車番の入力が終了したら 設定 ボタンを押します。
車番を入力するとそのときの安定した重量値を読み込み画面表示します。
設定 ボタンを押す前に 閉じる ボタンを押すとダイアログを閉じます。
再度入力する場合は車番の右側の濃い青色部分①を押してください。
（濃い青色は現在入力中を示します。）
消去 ボタンは入力中の文字を全て消去します。 後退 ボタンは入力中文字を１文字ずつ消去して左に後退します。

注意 □ 同じ車番の車番登録と滞留車登録がある場合は、車番登録が優先されます。

ここで、印字 ボタン②を押すと安定した重量値を読み込み、伝票印字する計量データを日計元帳に登録し、伝票印字を行います。

印字 ②を押す前に薄い青色部分③を押すと、伝票発行前に入力データを変更できます。
上図では業者のコード番号もしくは銘柄のコード番号がこれに該当します。（薄い青色は変更可能を示します。）

2．空車重量をキー入力する１回計量

車番と必要な項目を入力した後に空車重量表示部①を押し空車重量を入力すると１回計量として動作します。

4-5　２回計量

２回計量の計量手順を以下に示します。

トラックが乗車後に車番を入力し重量値が安定すると、コード番号入力待ちになります。

ここで、ダイアログ内の数字ボタンを押すことによりコード番号を入力し 設定 ボタンを押します。コード番号に対応する名称登録が存在すれば、コード番号の右側に表示します。
これでコード番号入力の操作は完了です。
コード番号を未入力としたい場合は、数字を入力しないで 設定 ボタンを押します。

コード番号を入力をすると以下の画面になり、設定完了 、空車 、総重 待ちになります。
以下の画面では計量機能設定での滞留車の扱いが“総重量”となっているため、１回目を総重量として表示しています。

ここで、設定完了 ボタン①を押して重量値が安定すると、計量データを滞留車として登録します。
空車 ボタン②を押して重量値が安定すると、計量データを滞留車として登録し空車重量を印字します。総重 ボタン③を押して重量値が安定すると、計量データを滞留車として登録し総重量を印字します。

計量伝票表示部の薄い青色部分④を押すと、滞留車登録前に入力データを変更できます。
また空車重量表示部を押し空車重量を入力することで1回計量となり、伝票発行をすることができます。

１回目に 空車 ボタンを押した場合の２回目は総重量、１回目に 総重 ボタン押した場合の２回目は空車重量となります。
１回目に 設定完了 ボタンを押した場合は、１回目と２回目の計量値の大きい方が総重量、小さい方が空車重量になります。
いずれの場合も重量値の大きい方から小さい方を引いた値が正味重量となり、正味重量が負の値となることはありません。

また、空車を滞留車として計量した際に計量したデータを車番登録することが可能です。
メニュー/保守の３：計量機能設定で「滞留車からの車番登録」の設定を“有り“にすると有効となります。
この場合には、計量の際に 設定完了 を押してください。入力した車番で空車登録を行い降車待ちとなります。 総重 空車 ボタンを押した場合には滞留車として計量します。

はい で車番登録し滞留車は作成しません。
ここで車番登録すると次回から１回計量となります。
いいえ では車番登録せず滞留車の作成となります。

4-6　計量伝票印字

１回計量、２回計量２回目の計量伝票を発行する際に、下記操作を行うことが可能です。

① 項目コード番号を未入力もしくは０で入力された箇所の名称入力

項目名称の表示部（薄い青色部分）を押すことで文字入力が可能となり名称のみ入力することができます。計量伝票に印字されるだけで日計元帳にメモリされるわけではありません。

② 印字しないで計量を完了する

計量伝票を発行する際には 印字 ボタンを押しますが、伝票発行の不要なときには 設定完了 ボタンを押すことで日計元帳にメモリするだけで降車待ちとなります。

4-7　空車、総重ボタンのみでの印字

車番を入力せずに現在の計量値を空車重量もしくは総重量として、正味重量を計量伝票に印字する機能を説明します。

まずトラックが乗車し、車番入力待ちで表示されたテンキーダイアログを 閉じる ボタンで閉じると、以下の画面になり 空車 ボタン、 総重 ボタンを表示します。
車番入力を“**車番一覧**”もしくは“**滞留車一覧**”から選択する設定では、画面右側が一覧表示となり、 空車 ボタン、 総重 ボタンは車両乗車後すぐに有効になります。

ここで、 空車 ①ボタンを押すと現在の安定した計量値を空車重量として、計量時分と共に印字し降車待ちとなります。

総重 ②ボタンを押すと、現在の安定した計量値を総重量として、計量時分と共に印字し降車待ちとなります。

ここで、保守/メニューの 3 ：計量機能設定 で“**空車／総重での正味印字**”が有りの設定では、印字した計量値を総重または空車として一時記憶します。１回目の一時記憶が“**空車**”のときには、次回に総重量の車両が乗車し 総重 ボタンを押すと総重量と正味重量を印字します。

ただし、この計量データは車番を入力していないので、日計元帳へは保存しません。

またこの一時記憶は電源を切るとクリアされます。

4-8　コントロールＩ／Ｏ

本器が持っているコントロール入出力の仕様内容を説明します。

4-8-1　コントロール入力

ゼロ	計量画面上の ゼロ ボタンと同様の機能です。
位置検出	トラック乗車の条件に追加します。位置検出を２つ使用する場合は２つが ON で有効になります。
計量	計量画面上の計量ボタンと同様の機能です。

4-8-2　コントロール出力

前信号（乗降車信）	トラック未乗車で ON、乗車で OFF になります。内部設定モードにおけるコントロールＩ／Ｏの出力選択が、乗降車信号になっている場合は逆になります。
後信号	計量が完了してトラックが降車待ちになると ON になります。他の状態では OFF になります。
過積載	過積載エラーが発生すると ON になります。 確認 ボタンで OFF になります。
行先出力	計量完了から次のトラックが乗車するまでの間、内部設定モードにおけるコントロールＩ／Ｏの行先出力で設定された、コード番号の下２桁を出力します。

4-9　補正の入力及び読出し

4-9-1　補正入力

正味重量算出後、重量引 → 水分引 → 比重 → 単価の順に、内部設定で使用となっている補正を入力します。項目コード同様に 印字 ボタンを押す前に値を変更することも可能です。

重量引

重量引で入力した重量値を、正味重量から引いて補正後正味とします。

以下の式で定義されます。
（個数未使用の場合）
補正後正味[ｋｇ] ＝ 正味重量[ｋｇ] － 重量引[ｋｇ]
（個数使用の場合）
補正後正味[ｋｇ] ＝ 正味重量[ｋｇ] － 重量引[ｋｇ] × 個数

注意 □ 設定により、重量引×個数及び補正後正味を目量で丸めます。

水分引

水分引で入力した値または水分登録の値から水分量を算出し、正味重量から引いて補正後正味とします。

以下の式で定義されます。
水分量[ｋｇ]　＝（正味重量[ｋｇ] × 水分率[%]）／ １００
補正正味[ｋｇ] ＝　正味重量[ｋｇ] － 目量で丸めた水分量[ｋｇ]

比重

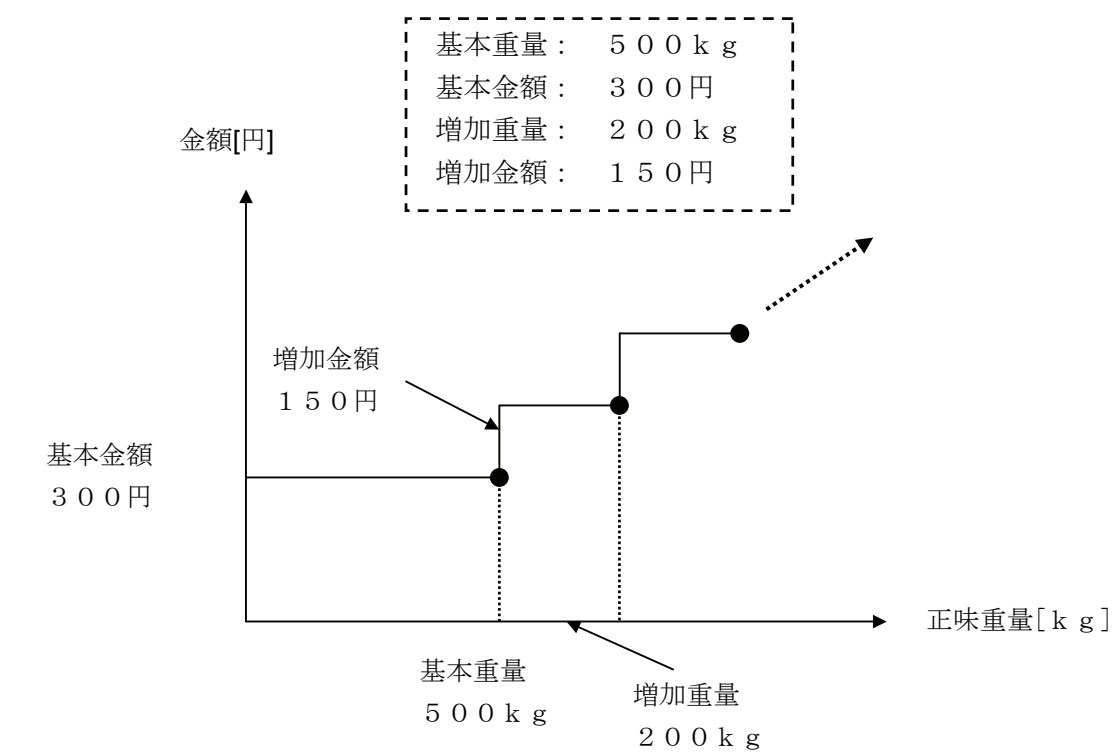
比重で入力した値または比重登録の値から容積を算出します。

以下の式で定義されます。
容積[㎥] ＝ 正味重量[ｋｇ] ／（比重 × １０００）

単価

単価で入力したまたは単価登録の値から金額を算出します。
さらに、消費税率から税額を算出し、これを金額に加算して税込み金額とします。

以下の式で定義されます。
（標準単価の場合）
金額[円] ＝　正味重量[ｋｇ] × 単価[円／ｋｇ]
税額[円] ＝（金額[円] × 消費税率[%]）／ １００
税込み金額[円] ＝ 金額[円] ＋ 税額[円]
（重量範囲単価の場合）
超過重量[ｋｇ] ＝ 正味重量[ｋｇ] － 基本重量[ｋｇ]（結果が負の場合は０）とすると、
金額[円] ＝ 基本金額[円] ＋（超過重量[ｋｇ] ／ 増加重量[ｋｇ]）× 増加金額
ただし、超過重量[ｋｇ] ／ 増加重量[ｋｇ]は小数点以下切捨て
税額、税込み金額は標準単価と同じ

正味重量と金額の関係は以下のようになります。

正味重量［ｋｇ］	金額［円］
正味重量≦５００ｋｇ	３００円
５００ｋｇ＜正味重量≦７００ｋｇ	４５０円
７００ｋｇ＜正味重量≦９００ｋｇ	６００円
⋮	⋮

4-9-2　補正登録の読出し

正味重量算出時（重量引使用の場合は重量引入力後）車番、項目コードの組み合わせで補正（水分、比重、単価）の登録があれば読み出して表示し、補正後正味、容積、金額を算出して表示します。

水分引登録を読み出すと以下の画面になります。

水分引の値を表示して、次の未入力項目の入力になります。
読み出した補正値は［印字］ボタンを押す前に、薄い水色部分を押すと変更可能です。
比重登録、単価登録の読出しも同様の操作となります。
ただし、単価が重量範囲単価の場合は、計量画面上には金額のみで単価データの表示はしません。さらに読み出した単価データの変更もできません。

4-10 計量伝票発行時の集計機能

メニュー/保守の計量機能設定の“**計量画面の集計項目**”が、車番別または項目１～４別のいずれかに設定されていると累計回数、累計重量を、さらに内部設定で単価使用であれば累計金額を、［印字］ボタンを押してからトラック降車までの間表示します。
さらに、内部設定において作成書式の印字項目として設定されていると、計量伝票に印字することも可能です。

計量画面で累計表示を行う設定では待機中に［集計クリア］ボタンを表示します。
この［集計クリア］ボタンを押すと、その時点から集計を開始して、集計開始年月日、時分を設定し直します。
集計開始の年月日、時分は、基本機能設定の集計開始年、月、日、時、分で閲覧可能です。
この機能による集計の掛け合わせは車番別、各項目別の“**１つのみ**”となっています。
伝票再発行では、集計開始の年月日、時分から選択した伝票の年月日、時分までの集計結果を表示します。伝票削除等で途中のデータが変わった場合は、それに応じて集計結果も変わります。
選択した伝票の年月日、時分が集計開始の年月日、時分より古くなった場合は、集計結果の表示、印字は行いません。

［印字］ボタンを押すと設定された集計表示を行い、以下の画面になります。

4-11 車番の入力方法

車番の入力についてはテンキーからの入力以外に、計量機能設定での車番入力の方法により、
車番登録一覧や滞留車一覧から選択して入力することもできます。

計量機能設定での車番入力の方法が車番一覧からになっているときは、トラックが乗車すると
以下の画面のように車番登録の一覧を表示します。

ここで車番登録一覧から、入力したい車番のデータ①を押すと車番入力ができます。
検索 ②ボタンを押すと検索用のダイアログを表示し、入力した文字で車番を検索して
一覧表示中に反転表示します。
車番入力の濃い青色部分③を押すと、車番入力のダイアログを表示して、そこから車番入力を
することも可能です。
滞留車一覧からの入力については、車番登録一覧からの入力と同様の操作になります。

ダイアログを表示していなくても、ＵＳＢテンキーから車番入力が可能です。
ただし、画面が車番入力待ちになってから入力が有効になります。
車番入力の濃い青色部分③及びメッセージを確認してください。

4-12 コード番号の入力方法

コード番号の入力についてはテンキーからの入力以外に、計量機能設定で項目コードの入力方法を選択して名称登録一覧から入力することもできます。

メニュー/保守の計量機能設定で項目コードの入力方法が一覧からの選択になっていると、車番入力後以下のように名称登録の一覧①を表示します。

ここで、名称登録一覧から入力したいコード番号（名称）のデータを押すと、コード番号の入力ができます。

検索 ②ボタンを押すと検索用のダイアログを表示し、入力した数値でコード番号を検索して、一覧表示中に反転表示します。

コード番号入力の濃い青色部分③を押すと、車番入力のダイアログを表示して、そこから車番入力することも可能です。

ダイアログを表示していなくても、ＵＳＢテンキーからコード番号入力が可能です。

ただし、画面がコード番号入力待ちになってから入力が有効になります。

コード番号入力の濃い青色部分③、及びメッセージを確認してください。

また、コード番号を未入力としたい場合、項目名称に０でブランク④を登録しておき、これを選択することで、項目の未入力（印字はブランク）となります。

メニュー/保守の計量機能設定で項目コードの入力方法がテンキーに設定された場合には画面に表示されるテンキーダイアログより入力します。

4-13 過積載

計量値が車番登録された最大積載量を超えると過積載エラーとなり、ダイアログを表示してコントロール出力を ON にします。

過積載を判定する条件や過積載後の動作は、計量機能設定で以下のように設定できます。

最大積載量の設定（０は設定無し）		
	車番登録	最大積載量が車番登録されているときは、この設定値で過積載を判定します。
	共通設定	最大積載量が車番登録されていないときは、計量機能設定の最大積載量で過積載を判定します。
過積載時の処理		
	計量続行	確認 ボタンで計量続行します。
	計量禁止	確認 ボタンで車番入力待ちに戻ります。
過積載の判定重量		
	正味重量	正味重量＞最大積載量で過積載エラーとします。
	総重量	総重量　＞最大積載量で過積載エラーとします。

4-14 ２スケール仕様

スロット２に増設 AD ボード（ＯＰ－０１）またはカレントループ入力ボード（ＯＰ－０９）を実装することで、２スケール仕様として動作します。

スケール２を使用した場合も、スケール１と同様な手順で計量伝票の発行が可能です。
また、どちらで計量しても滞留車データは共通なので、スケール１で総重量（空車重量）を、スケール２で空車重量（総重量）を計量して伝票発行することも可能です。
カレントループ出力による外部表示器（ＡＤ－８９２１）は、選択中のスケールの重量値を出力します。
本器電源を立ち上げたときにスケール２が乗車中でなければ、スケール１が選択された状態になります。
スケールの切替は、スケール切替ボタンによる手動切替と、計量動作の変化による自動切替があります。
手動切替は待機中、車番入力待ち、降車待ちで可能であり、計量中のスケール切替は禁止です。
車番入力待ちの場合は、ダイアログを閉じてからスケール切替が有効になります。

自動切替は以下の場合に行われます。

1）待機中で選択されていないスケール（スケール１が選択されているならスケール２）のトラックが乗車した場合。

2）車番入力待ちまたは降車待ちで、選択されていないスケール（スケール１が選択されているならスケール２）のトラックが乗車した状態で、選択されている（スケール１が選択されているならスケール１）トラックが降車した場合。

スケール１と２の計量値は、単位、小数点、目量は共通となります。

5 メニューモード

計量モードで メニュー ボタンを押すと、計量モードからメニューモードに切り替わりメインメニューを表示します。

1.伝票
　伝票再発行、追加発行、一覧印字、削除を行います。

2.滞留車
　滞留車の変更、滞留車を選択しての伝票発行、一覧印字、削除を行います。

3.集計
　計量伝票の集計を行います。

4.車番登録
　車番に対する項目コード、空車重量、最大積載量の登録を行います。

5.名称登録
　項目名称の登録、変更、一覧印字、削除を行います。

6.水分登録
　水分引の登録、変更、一覧印字、削除を行います。
　内部設定で水分登録を使用する設定のときに表示します。

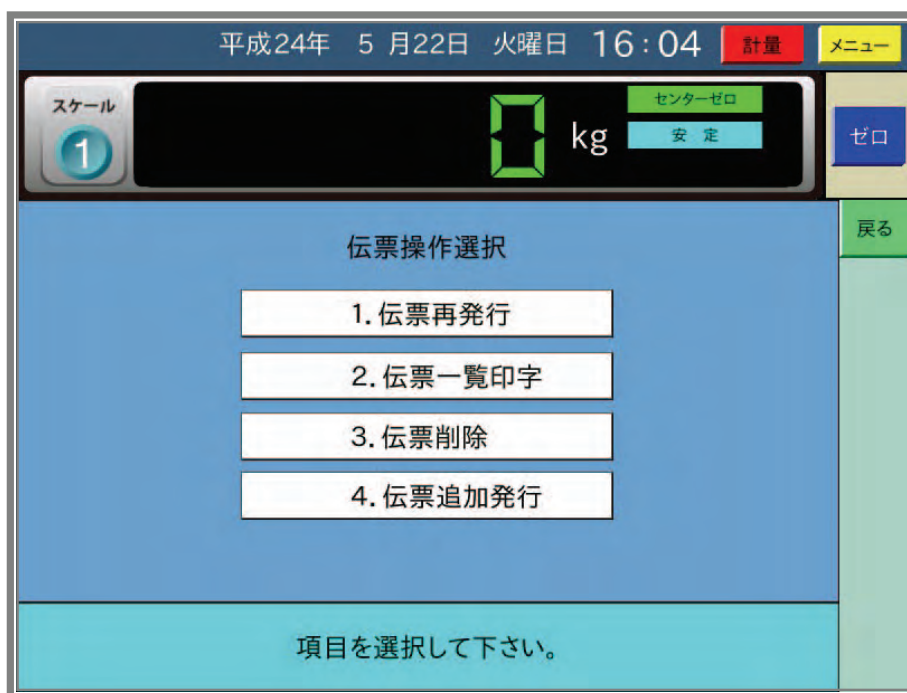
7.比重登録
　比重の登録、変更、一覧印字、削除を行います。
　内部設定で比重登録を使用する設定のときに表示します。

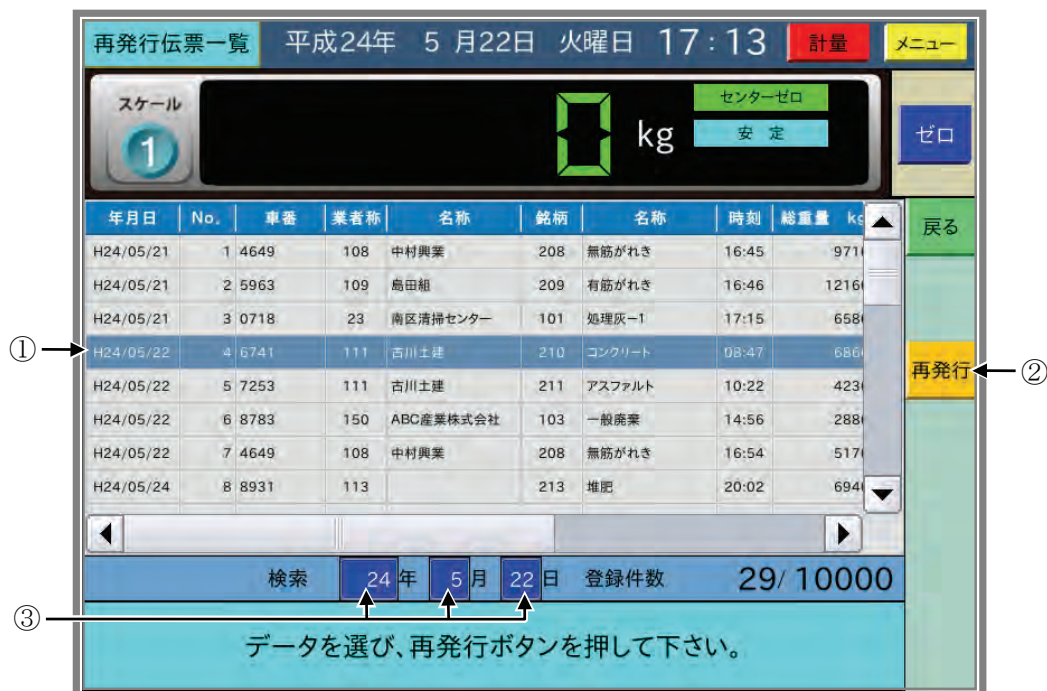
8.単価登録
　単価の登録、変更、一覧印字、削除を行います。
　内部設定で単価登録を使用する設定のときに表示します。

9.保守
　時間の設定、機能の設定、外部メモリへデータの保存・読み込みを行います。

最上表示部の日付右側に位置する 計量 ボタンで、計量モードに切り替わります。

5-1 伝票

メインメニューで 1.伝票 を選択すると、伝票操作選択画面が表示され操作を選択できます。
4.伝票追加発行 は、内部設定で伝票追加発行が“**使用**”のときのみ表示します。
戻る ボタンを押すと、前画面に戻ります。(以下共通)

5-1-1 伝票再発行

1.伝票再発行 を選択すると伝票一覧を表示して、その日の伝票の先頭①を反転表示にします。

ここで 再発行 ②ボタンを押すと伝票データが表示されます。
伝票一覧から他の伝票の行を押すとその行が反転表示され、再発行 ②ボタンを押すと選択した伝票データが表示されます。
検索の年月日③を変更すると、変更した年月日の伝票の先頭が反転表示します。

ここで 印字 ④ボタンを押すと伝票が再発行します。
印字 ボタンを押す前に薄い青色部分⑤を押すと、伝票データを変更することができます。

印字 ボタンを押した後、登録確認のダイアログ(変更があった場合のみ)、印字確認のダイアログを順に表示します。それぞれ必要ならば はい のボタンを押してください。

5-1-2　伝票一覧印字

2.伝票一覧印字 を選択すると伝票一覧を表示して、その日の伝票の先頭を反転表示にします。
ここで、一覧印字する伝票の行の終わりを押すと、選択した範囲①が反転表示します。

一覧印字 ②ボタンを押すと確認のダイアログを表示した後、選択した伝票の一覧印字をします。
選択解除 ③ボタンを押すと選択を解除し、全選択 ④ボタンを押すと全ての伝票データを選択します。
さらに 日付範囲 ⑤ボタンを押すと日付範囲を入力するダイアログを表示し、指定した日付範囲で一覧印字します。日付範囲は現在の年月日から表示します。範囲を変更する場合は変更する項目を押して、変更してから 確定 ボタンを押します。

5-1-3　伝票削除

３.伝票削除 を選択すると伝票の一覧表示をします。
伝票削除には、日付範囲 ボタンによる削除、全選択 ボタンによる全ての伝票データの削除、画面選択による１件削除と範囲指定削除の方法があります。

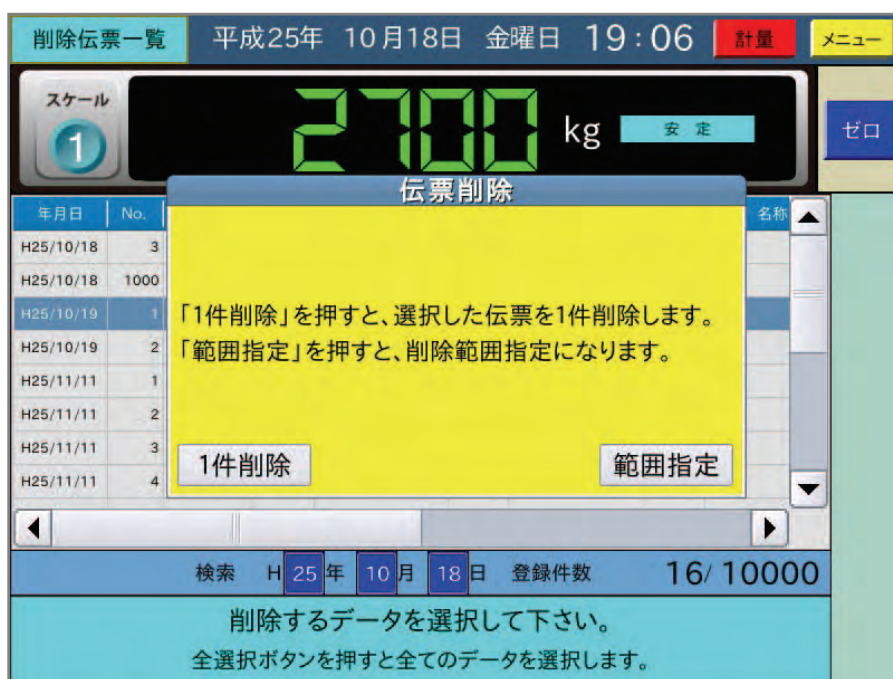
日付範囲 ボタンによる削除

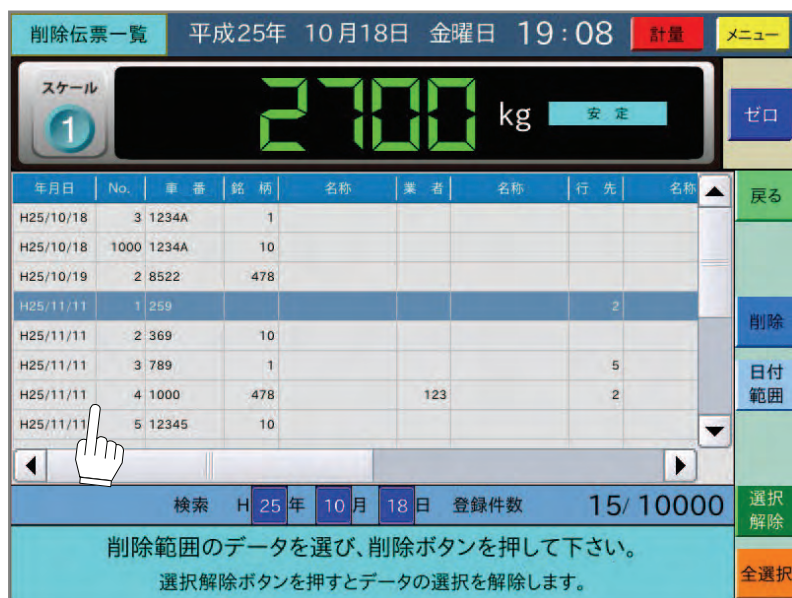
削除する日付を入力するダイアログが表示しますので、削除する日付範囲を入力し 確定 ボタンでその日付範囲を削除します。削除した後に伝票番号を設定します。

全選択 ボタン

全ての伝票データが選択されます。（ここでは選択するだけです）

削除 ボタンを押すことで全ての伝票データを削除し、削除した後に伝票番号を設定します。

メニュー画面の伝票操作選択より［３：伝票削除］に入り、伝票一覧表示をしたところで削除する伝票を選択すると［１件削除］と［範囲指定］のダイアログを表示します。

［１件削除］ ボタンを押すと、選択した１件を削除し伝票一覧画面に戻ります。
１件削除では、伝票番号の設定画面は表示されません。現在の伝票番号の続きによる連番となります。

［範囲指定］ ボタンを押すと、範囲指定となり最初に選択した伝票の一覧画面に戻ります

次に削除する最後の伝票を選択し、削除する範囲を指定します。

画面右端の［削除］ボタンで選択した範囲の伝票を削除します。

削除した後に、伝票番号の設定を促すダイアログが表示されますので、伝票番号の変更が必要な場合には入力してください。

5-1-4　伝票追加発行

計量せずに計量データを入力して伝票発行をします。

［４.伝票追加発行］を選択すると、その日の年月日を表示したダイアログを表示します。

ここで日付の変更をしないで［確定］ボタンを押すと、その日を日付とした 伝票追加発行画面 を表示します。

日付を変更して［確定］ボタンを押すと、変更した日を日付とした 伝票追加発行画面 を表示します。

伝票番号から順に入力していき、入力が全て終了したら［印字］ボタンを押します。

入力した伝票番号が重複した場合には、重複しない伝票番号が自動的に入力されます。

［印字］ボタンを押した後、登録確認のダイアログ、印字確認のダイアログを順に表示します。

それぞれ必要ならば［はい］のボタンを押してください。

入力を間違えたときはダイアログを閉じてから、［入力戻り］ボタンを押します。

１つ前の項目を入力するためのダイアログを表示します。

［印字］ボタンを押す前に薄い青色の部分を押すと、伝票データを変更できます。

総重量、空車重量のときに“２４”を入力すると時刻無しとなります。

ここで伝票発行すると最下行に“**法定計量外**”を印字します。

5-2 滞留車

メインメニューで 2.滞留車 を選択すると、滞留車操作選択画面が表示され操作を選択できます。

5-2-1 滞留車変更

1.滞留車変更 を選択すると、以下の画面のように滞留車の一覧が表示されます。

車番	業者	名称	銘柄	名称	時刻	計量値 kg	状態
4123	104	鴻巣商品回収	205	古新聞	17:53	1700	初回重量
4521	100	広域リサイクルセンター	103	一般産業	14:40	1570	初回重量
4758	103	小林リサイクル	205	古新聞	16:21	5270	初回重量
4949	108	中村興業	209	有筋がれき	08:44	840	空車重量
5656	150	ABC産業株式会社	302	危険物一薬品	09:45	990	初回重量

ここで、変更する滞留車の行を押すと反転表示になり、 変更 ①ボタンを押すと滞留車変更画面で選択した滞留車データが表示されます。

検索の車番②を入力すると、入力した車番の滞留車が反転表示します。

一覧表中の“**状態**”③では、滞留車作成時に空車重量を印字していれば“**空車重量**”、総重量を印字していれば“**総重量**”、印字をしていなければ“**初回重量**”を表示します。

滞留車の計量値④は滞留車作成時に印字していれば、一覧表中の“**状態**”と同様に、総重量、空車重量として表示します。印字していなければ、計量機能で滞留車の扱いの設定によります。

ここで、薄い青色部分⑤を押して滞留車データを変更した後に、設定完了 、空車 、総重 のいずれかのボタンを押します。（滞留車変更では車番、コード番号が変更可能です。）

設定完了 ⑥ボタンを押すと、滞留車データを変更します。

空車 ⑦ボタンを押すと、計量値を空車重量として滞留車データを変更して印字します。

総重 ⑧ボタンを押すと、計量値を総重量として滞留車データを変更して印字します。

5-2-2　滞留車発行

２.滞留車発行 を選択すると、以下の画面のように滞留車の一覧が表示されます。

ここで、伝票発行する滞留車の行を押すと反転表示になり、滞留車発行 ①ボタンを押すと、滞留車発行画面で選択した滞留車データが表示されます。

検索②に車番を入力すると、入力した車番の滞留車が反転表示します。

滞留車の計量値は滞留車作成時に印字していれば、一覧表中の“**状態**”と同様に総重量、空車重量として表示します。印字していなければ、計量機能で滞留車の扱いの設定によります。
上記例では計量値が総重量となってるので、空車重量を入力して正味重量を算出後に 印字 ボタンを押します。
滞留車発行では計量値をキー入力しますので、“**計量時間**”は入力できません。
印字 ボタンを押した後、登録確認のダイアログ、印字確認のダイアログを順に表示します。
それぞれ必要ならば はい のボタンを押してください。
入力を間違えたときは、ダイアログを閉じてから 入力戻り ボタンを押します。
１つ前の項目を入力するためのダイアログを表示します。
印字 ボタンを押す前に薄い青色の部分を押すと、伝票データを変更できます。

5-2-3　滞留車一覧印字

３.滞留車一覧印字 を選択すると、滞留車の一覧を表示します。
ここで、一覧印字する滞留車の行の始めと終わりを押すと、選択した範囲が反転表示します。

一覧印字 ①ボタンを押すと、確認のダイアログを表示した後、選択した滞留車の一覧印字をします。
選択解除 ②ボタンを押すと選択を解除し、全選択 ③ボタンを押すと、全ての滞留車データを選択します。

5-2-4　滞留車削除

４.滞留車削除 を選択すると、滞留車の一覧を表示します。
ここで、削除する滞留車の行の始めと終わりを押すと、選択した範囲が反転表示します。
削除 ボタンを押すと確認のダイアログを表示した後、選択した滞留車を削除します。
選択解除 ボタンを押すと選択を解除し、全選択 ボタンを押すと、全ての滞留車データを選択します。

5-3 集計

メインメニューで 3.集計 を選択すると、以下の画面を表示します。

以下の手順により日計元帳の集計を行います。

1）集計の掛け合わせ項目①を最大３つまで選択します。
　　直前の入力を取り消すには キャンセル ②ボタンを押します。

2）集計期間③を変更します。現在の年月日の１日の集計の場合は変更は不要です。

掛け合わせ項目の選択、集計期間の変更をすると以下の画面になります。

ここで、 確定 ボタンを押すと集計結果を表示します。

最初に集計結果を全て選択した状態になります。 印字 ①ボタンを押すと確認のダイアログを表示した後、集計印字を行います。

印字範囲を選択したい場合は 選択解除 ②ボタンを押した後、印字する集計データの始めと終わりを指定してから 印字 ①ボタンを押します。

5-4 車番登録

メインメニューで ［4.車番登録］ を選択すると車番登録の一覧を表示します。

（新規登録）
一覧表示画面で ［新規登録］ ①ボタンを押すと新規車番登録画面となり、車番入力用のダイアログを表示します。
車番 → コード番号 → 空車重量 → 最大積載量の順に入力し、［登録］ ボタンを押します。
車番登録前に薄い青色部分を押して、車番登録データを変更することができます。
空車重量を“０”で登録すると２回計量用の各項目の登録、最大積載量の登録として動作します。

（変更）
車番登録一覧画面で変更する車番の行を押すと以下の画面になります。

ここで ［変更］ ②ボタンを押すと、車番登録変更画面に選択した車番登録データを表示します。
薄い青色部分を押して車番登録データを変更して、［登録］ ボタンを押します。

（一覧印字／削除）
一覧印字／削除する車番登録の行の始めと終わりを押すと選択した範囲が反転表示します。
ここで ［一覧印字］ ③／［削除］ ④ボタンを押すと、選択した車番登録を一覧印字／削除します。
［選択解除］ ⑤ボタンを押すと選択を解除し、［全選択］ ⑥ボタンを押すと全ての車番登録データを選択します。
一覧表示画面で検索の車番を入力すると、入力した車番の滞留車が反転表示します。

車番登録の最大桁数

項目	最大桁数	入力範囲
車番	8 文字	0～9、A～Z
項目コード	5 桁	0～99999
空車重量	6 桁（小数点含）	0～99999
最大積載量	6 桁（小数点含）	0～99999

5-5 名称登録

メインメニューで 5.名称登録 を選択すると､以下の画面を表示し､名称の種類を選択します。

１～４は内部設定で項目を使用する場合のみ表示します。
５は内部設定でＡＤ４３８５を使用する場合のみ表示し、名称登録の中のＪＩＳ第二水準一覧を表示します。名称登録時にＡＤ４３８５と接続されていれば、ＪＩＳ第二水準のフォントをＡＤ４３８５に自動的に送信します。
１～４は項目ごとにコード番号に対し名称を、新規登録、変更、一覧印字、削除を行いますが、それぞれの操作手順は同じです。
コード番号は最大５桁、名称は最大１４文字まで入力可能です。

注意１）PC で登録する名称のデータを作成する際に、**NEC 特殊**フォントは対応していませんので注意してください。
“㈱”は“(”“株”“)”の３文字として読み込み、同様に㈲、㈹ も３文字に置き換え読み込みますが、それ以外の
①、②、③、④、⑤、⑥、⑦、⑧、⑨、⑩、⑪、⑫、⑬、⑭、⑮、⑯、⑰、⑱、⑲、⑳
Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ、Ⅹ
㍉、㌔、㌢、㍍、㌘、㌧、㌃、㌶、㍑、㍗、㌦、㌣、㌫、㍊、㌻
㎜、㎝、㎞、㎎、㎏、㏄、㎡、
㍻、№、㏍、℡、㊤、㊥、㊦、㊧、㊨、㍾、㍽、㍼
≒、≡、∫、∮、Σ、√、⊥、∠、∟、⊿、∵、∩、∪
は対応しませんので他の文字による登録をお願いします。またこの文字を読み込んだ場合には★マークとして表示させますので、改めて登録し直す作業をお願いします。

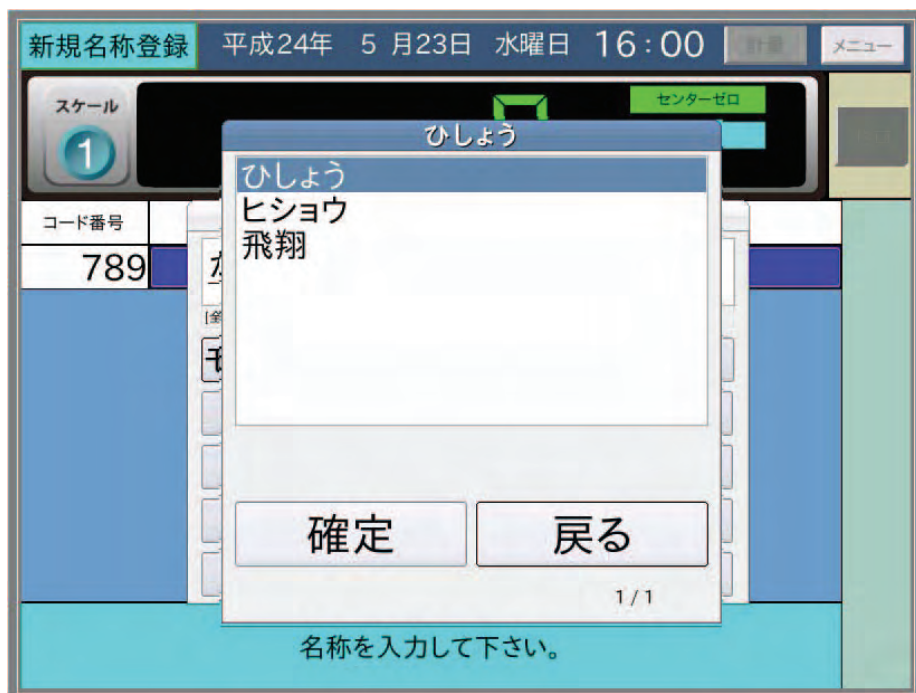
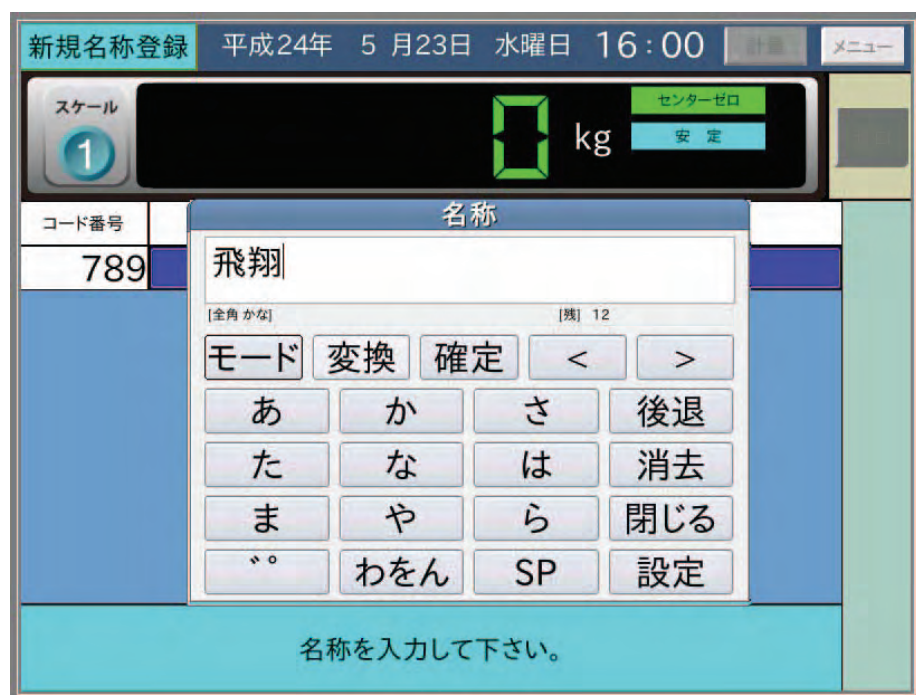
注意 2）PC で項目名称登録データを作成の際に、半角文字で作成したデータは読み込み可能ですが、本器では全角のみ入力可能にて、読み込んだ半角データの編集はできませんので了承ください。この様な場合には PC 側で再修正ください。

5-5-1　新規名称登録

｜２.銘柄｜ を選択すると、銘柄のコード番号に対する名称の一覧を表示します。
ここで ｜新規登録｜ ボタンを押すと、以下のように新規名称登録画面になり、コード番号入力のダイアログを表示します。

ここでコード番号を入力すると、名称登録のダイアログを表示します。

“あ”“か”などの文字のボタンは平仮名の５０音の各行の先頭を示します。
続けて押すと、“あ”→“い”→“う”→“え”→“お”のように文字が変化していきます。
モードボタンは **全角かな→全角英字→全角数字→全角かな** と入力文字の種類を変化させます。
｜変換｜ ボタンは、かな入力を漢字に変換して変換候補を表示させます。
｜確定｜ ボタンは、かな入力を漢字に変換せずに確定させます。
“＜”“＞”ボタンは、入力した文字の間を移動して文字を挿入するときに使用します。

“ひ”“し”“ょ”“う”と順に入力して 変換 ボタンを押すと、以下のように変換候補を表示します。

“飛翔”を選択して 確定 ボタンを押すと以下のような表示になります。

さらに、“けい” 変換 “**珪**”、“さ” 変換 “**砂**”、と入力し “**珪砂**” を入力。
SP ボタンを押していき “　” → “、” → “。” → “ー” が表示されたら モード ボタンを押し “５” を入力、続けて モード ボタンを押して “ごう” 変換ボタンで、“**珪砂ー５号** “と入力します。

名称登録データがこれで良ければ 設定 ボタンを押します。
すると以下のような表示になり、登録 ボタンを押すと入力データを登録します。
登録 ボタンを押す前に薄い青色部分を押せば、名称登録データを変更することができます。

（入力できる記号）

“ °	“ （濁音の点） ° （ぱ、ぴなどのマル）

SP	（スペース）、（句点）　。（まる） ー（ハイフン）　・（中央点）！　？

｛［（	｛ → ｝ → ［ → ］ → （ → ） → ＜ → ＞ → ｜ → ／

＠＊＃	＠ → ＊ → ＃ → ￥ → ％ → ＄ → ＆ → ＋ → －→ ！→ ？ → ＝

SP	（スペース） → “→ ‘→ ＾→ ～ → ’ → 、→ ． → ： → ；→ ＿

	｛ → ｝ → ［ → ］ → （ → ） → ＜ → ＞ → ｜ → ／

SP	（スペース） → “→ ‘→ ＾→ ￣ → ’ → 、→ ． → ： → ；→ ＿

5-5-2　名称登録変更

名称登録の種類として ２．銘柄 を選択すると、銘柄のコード番号に対する名称の一覧を表示します。

ここで、変更する名称登録の行を押すと押した行が反転表示し、変更 ②ボタンを押すと名称登録変更画面に選択した名称登録データを表示します。

名称登録変更画面では、薄い青色部分を押して名称登録データを変更してから、登録 ボタンを押します。名称の入力方法は新規名称登録と同じです。

5-5-3　名称登録一覧印字／削除

一覧印字／削除する名称登録の行の始めと終わりを押すと、選択した範囲が反転表示します。

ここで 一覧印字 ③／削除 ④ ボタンを押すと、選択した名称登録を一覧印字／削除します。

選択解除 ⑤ボタンを押すと選択を解除し、全選択 ⑥ボタンを押すと全ての車番登録データを選択します。

一覧表示画面で検索のコード番号を入力すると、入力したコード番号の名称が反転表示します。

5-5-4　コード番号０の登録

コード番号を０のまま新規登録すると、コード番号０で登録名称なし（ブランク）を登録できます。計量画面で名称一覧より選択入力するときに未入力で計量する場合に使用できます。

5-5-5　ＪＩＳ第二水準一覧表示

名称登録の種類選択で［５.ＪＩＳ第二水準一覧］を選択すると、名称登録データ内にあるＪＩＳ第二水準の文字を抽出して一覧表示します。

［登録］ボタンを押すと、ＪＩＳ第二水準のフォントデータをＡＤ４３８５に送信します。
ただし、名称登録時にＡＤ４３８５と接続していた場合にはこの必要はありません。

5-6 補正登録

補正には、水分、比重、単価の３種類があります。
内部設定で“**登録**”を使用する設定の場合に、メニュー画面に表示します。
水分、比重、単価の登録動作は共通なので、ここでは水分登録を例に補正登録を説明します。
メインメニューで［６.水分登録］を選択すると、水分登録の一覧を表示します。

（新規登録）

一覧表示画面で［新規登録］①ボタンを押すと新規水分登録画面となり、車番入力用のダイアログを表示します。
車番／コード番号／水分の順に入力し［登録］ボタンを押します。
車番登録前に薄い青色部分を押して、水分登録データを変更することができます。
補正登録を読み出すための条件は内部設定で、車番、項目１～４を使用するかしないか選択できます。
補正登録では内部設定で使用する項目のみ設定します。車番が未使用ならば最初にコード番号入力になります。

（変更）

水分登録一覧画面で変更する水分登録データの行を押すと以下の画面になります。

ここで 変更 ②ボタンを押すと、水分登録変更画面で選択した水分登録データを表示します。
薄い青色部分を押して水分登録データを変更して、 登録 ボタンを押します。

（一覧印字／削除）

一覧印字／削除する水分登録の行の始めと終わりを押すと、選択した範囲が反転表示します。
ここで 一覧印字 ③ ／ 削除 ④ボタンを押すと、選択した水分登録を一覧印字／削除します。
選択解除 ⑤ボタンを押すと選択を解除し、 全選択 ⑥ボタンを押すと全ての水分登録データを選択します。

補正登録一覧表示では車番を使用する場合は車番による検索、車番を使用しない場合は表の一番左のコード番号により検索します。入力した車番及びコード番号の補正登録が反転表示されます。

補正登録の最大桁数

項目	最大桁数	入力範囲
車番	8 文字	0～9、A～Z
項目コード	5 桁	0～99999
水分引	4 桁（小数点含）	0～100
比重	4 桁（小数点含）	0.01～9.99
単価	6 桁（小数点含）	0～99999
基本重量	6 桁（小数点含）	0～99999
増加重量	6 桁（小数点含）	0.01～99999

5-6-1　重量範囲単価

内部設定で単価の使用を重量範囲単価とした場合は、メインメニューで ８.単価登録 を選択すると重量範囲単価登録の一覧を表示します。
計量時に重量範囲単価を使用する場合は、計量中に入力することはできませんので、必ず登録が必要になります。

（新規登録）
一覧表示画面で 新規登録 ①ボタンを押すと新規単価登録画面となり、車番入力用のダイアログを表示します。
車番→コード番号→基本重量→基本金額→増加重量→増加金額の順に入力し、 登録 ボタンを押します。
単価登録前に薄い青色部分を押して、単価登録データを変更することができます。

（変更）
単価登録一覧画面で変更する単価登録データの行を押すと、以下の画面になります。

ここで 変更 ②ボタンを押すと、単価登録変更画面で選択した単価登録データを表示します。
薄い青色部分を押して水分登録データを変更して、 登録 ボタンを押します。

（一覧印字／削除）
一覧印字／削除する単価登録の行の始めと終わりを押すと、選択した範囲が反転表示します。
ここで 一覧印字 ③ ／ 削除 ④ボタンを押すと、選択した単価登録を一覧印字／削除します。
選択解除 ⑤ボタンを押すと選択を解除し、 全選択 ⑥ボタンを押すと全ての単価登録データを選択します。

検索機能、管理番号の表示については、他の補正登録と同様となります。

5-7 保守

各種設定、データの保存・読み込みを行います。
メインメニューで 9.保守 を選択すると、以下の画面を表示します。

5-7-1 日付時刻設定

保守メニュー画面で 1.日付時刻設定 を選択すると以下の画面を表示します。
年月日時分の薄い青色部分を押して設定を変更します。

年、月、日、時、分、のそれぞれを設定しテンキーが消えると、最上部の日付・時間表示部に設定した値を表示して次の設定が可能となります。

5-7-2　基本機能設定

保守メニュー画面で ［２.基本機能設定］ を選択すると，以下の画面を表示します。

バックライト 消灯タイマー	計量モードの待機中であるときに、ここで設定した時間に本器の操作、車両の乗車が無かった場合に、液晶画面表示をブランクさせる機能です。 画面のどこかをタッチするか、車両が乗車すると表示します。 設定値：未使用/１分/３分/５分/１０分
伝票番号	現在の伝票番号を変更できます。番号の表示箇所をタッチすると、テンキーを表示し設定可能となります。同じ伝票番号が存在する場合には、変更しないで元の画面に戻ります。
輝度調整	液晶画面の輝度調整を行います。△を押すと画面が明るくなり▽を押すと暗くなります。暗くする設定の方が消費電力を押さえ寿命を長くします。電源を切っても保存します。
キーロックボタン	計量画面でタッチパネルの操作を禁止するためのボタンです。 設定値：使用/未使用
集計開始 年月日時分	計量時に集計を行う設定“**計量画面での集計項目**”＝　“**集計未使用**”以外に設定したときに有効となる機能で、集計をクリアした時間を集計開始時間として表示します。ここでは閲覧のみで設定はできません。 計量伝票にここで表示する集計結果を印字させるには、“**作成書式**”による設定が必要となります。

初期値は　　　　と、網掛けで示します。

5-7-3　計量機能設定

保守メニュー画面で ３.計量機能設定 を選択すると、以下の画面を表示します。

項目	説明
滞留車の扱い	２回計量の１回目の計量値を総重量として読み込むのか、空車として読み込むのかを設定します。　設定値：空車重量／総重量
空車/総重での正味印字	車番を入力せず、総重量、空車を印字する際に正味重量を印字する機能の有無を設定します。　設定値：無し／有り
起動時の伝票番号の設定	本器を起動した時の伝票番号設定が有りか無しかを設定します。 無しの場合には、連番で起動します。　設定値：無し／有り
登録・集計の印字先	登録・集計印字を行うプリンタを指定します。 設定値：伝票プリンタ／レーザープリンタ
伝票プリンタへの伝票発行	本器に接続した計量伝票への印字条件を設定します。 設定値：無し／キー操作／無条件
レーザープリンタへの伝票発行	レーザープリンタでの伝票印字の有無を設定します。 設定値：無し／有り
ＰＣＲＰへの伝票発行	PCRP での伝票印字のための条件を設定します。 設定値：無し／カード挿入のみ／無条件
過積載時の処理	過積載エラー発生後の動作を設定します。 計量禁止では 確認 ボタンを押すと車番入力待ちになります。 設定値：計量続行／計量禁止
過積載の判定重量	過積載エラーの判定を総重量で行うのか正味重量で行うのかを設定します。 設定値：正味重量／総重量
車番の入力方法	計量時の車番の入力方法を設定します。 設定値：テンキーから／車番一覧から／滞留車一覧から
項目コードの入力方法	計量時の項目コードの入力方法を設定します。 設定値：テンキー入力／名称一覧表示から選択
計量画面での集計項目	計量時の集計項目を設定します。掛け合わせは１つのみです。 設定値：集計未使用／車番別／項目１別／項目２別／項目３別／項目４別
滞留車からの車番登録	２回計量１回目の滞留車データを車番登録するかどうかを設定します。 設定値：無し／有り
最大積載量	最大積載量を設定します。車番登録に最大積載量の設定が無い場合にこちらの値により過積載の判定を行います。　設定値：０ｋｇ

初期値は　　　と、網掛けで示します。

5-7-4　音声ガイダンス

保守メニュー画面で［４.音声ガイダンス］を選択すると、以下の画面を表示します。

ボリューム	音声のボリュームを設定します。 設定値：音声無し／小／中／大
起動時	起動時の音声を設定します。 設定値：未使用／男声／女声
トラック乗車	トラック乗車時の音声を設定します。 設定値：未使用／男声／女声／効果音のみ
１回目計量終了	２回計量１回目終了時の音声を設定します。 設定値：未使用／男声／女声
降車待ち	降車待ちでの音声を設定します。 設定値：未使用／男声／女声
伝票発行	伝票発行前の音声を設定します。 設定値：未使用／男声／女声
過積載	過積載エラー時の音声を設定します。 設定値：未使用／男声／女声
ひょう量オーバー	ひょう量オーバー時の音声を設定します。 設定値：未使用／男声／女声

初期値は　　　　と、網掛けで示します。

5-7-5　保守情報

保守メニュー画面で ６.保守情報 を選択すると、以下の画面を表示します。
プリンタ印字行数、ロードセル入力のｍＶ／Ｖ、登録件数等を表示します。

5-8　データの保存・読込

保守メニュー画面で［５．データの保存・読込］を選択し、ＵＳＢメモリを装着すると、以下の画面を表示します。

5-8-1　ＵＳＢメモリへの保存

ここで、［ＵＳＢメモリ］を選択すると、以下の画面を表示します。
［解除］ボタンを押すとメモリの選択に戻ります。以下、データ保存・読込において［解除］ボタンは１つ前の状態に戻る機能となります。

注意 □　ここで USB メモリに作成された各ファイルの日付の年は、現在の西暦に対し-12 年された年になりますので留意ください（2013 年では 2001 年となります）

さらに、 書込み を選択すると以下の画面を表示します。
書き込み項目として表示するのは、データが存在するものだけです。内部設定、校正データは常に表示します。

ここで、書き込みを行うデータを選択して実行ボタンを押すと、それぞれのデータをＵＳＢメモリに拡張子ＣＳＶ（カンマ区切り）のファイルで保存します。
一括 を選択すると全てのデータをＵＳＢメモリに保存します。

書き込みが終了すると、以下のように書き込み結果の一覧を表示します。

書き込みに失敗すると、赤字で×を表示します。

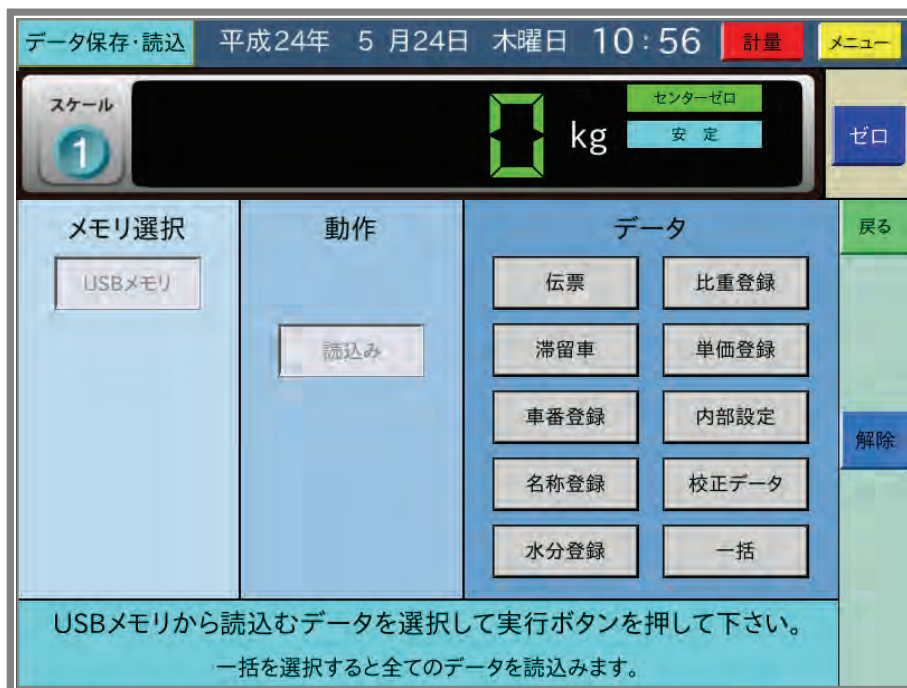
ＵＳＢメモリに書き込まれるファイル名及びフォルダ名は以下のようになっています。

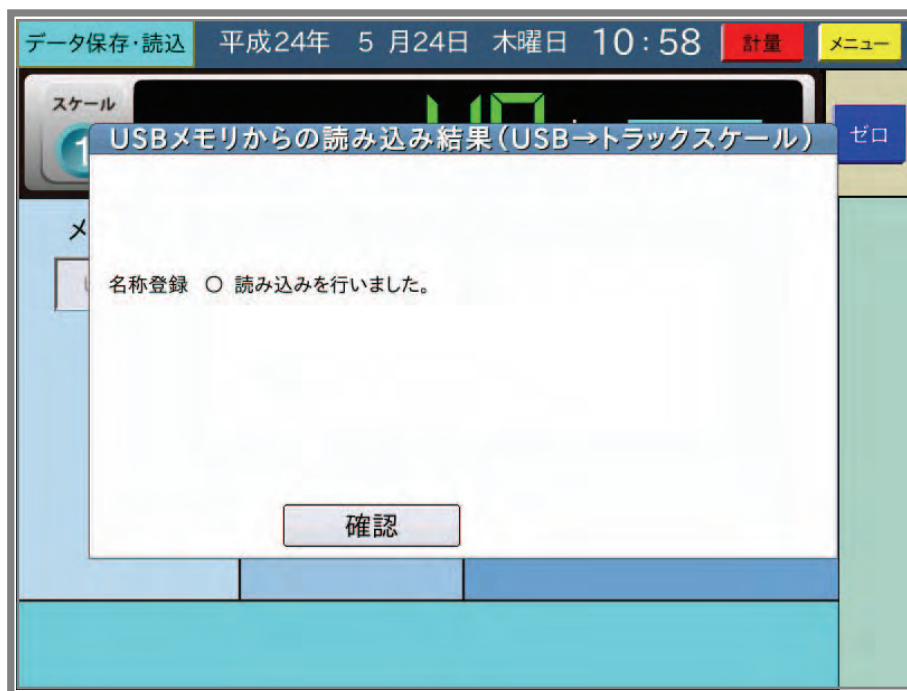
各データのファイル名

（日計元帳）	Chit_Stream.csv	（滞留車）	Stay_Stream. csv
（項目 1 登録データ）	Title_Stream1. csv	（項目 2 登録データ）	Title_Stream2. csv
（項目 3 登録データ）	Title_Stream3. csv	（項目 4 登録データ）	Title_Stream4. csv
（車番登録）	Car_Stream. Csv	（水分登録）	Moi_Stream. csv
（比重登録）	Hij_Stream. csv	（単価登録）	Pric_Stream. csv

内部設定と校正データは、上記名称のフォルダ内にテキストファイルが複数作成されます。

5-8-2　ＵＳＢメモリからの読込

ＵＳＢメモリ を選択後、読込み を選択すると以下の画面を表示します。
読み込み項目として表示するのは、ＵＳＢメモリ内にファイルが存在するものだけです。

ここで、読み込みを行うデータを選択して実行ボタンを押すと、それぞれのデータを本器に読み込みます。
ただし読み込み可能なデータは車番登録／名称登録／水分登録／比重登録／単価登録となります。

名称登録 を選択して読み込みが終了すると、以下のように読み込み結果を表示します。

読み込みに失敗すると、赤字で×を表示します。
編集したテキストファイルは、書式が完全に一致していないとエラーになりますので、注意してください。

6 印字例

6-1　伝票印字

Ａタイプ：カード式プリンタ（複写用紙、単票）

計　量　伝　票			
回数／日付	No.4352　　24. 5.24		
車　番	8739		
業　者	150 ABC産業株式会社　　様		
銘　柄	206 産業廃棄物		
総重量	15:26　　15680kg		
空　車	15:27　　2890kg		
正　味	12790kg		
備　考		サイン	

取引証明に使用する計量伝票は、車番、総重量、空車、正味、また補正機能を有するときには、その補正内容（水分／比重／単価）など、印字データが何を示すものなのかが明確に印刷された用紙を、必ずご使用ください。

Ｂタイプ：発行式プリンタ（複写用紙、連続紙）

計 量 書

	No.4352　24. 5. 24
車 番	8739
業 者	150 ABC産業株式会社　様
銘 柄	206 産業廃棄物
総重量	15:26　15680kg
空 車	15:27　2890kg
正 味	12790kg

サイン

取引証明に使用する計量伝票は、車番、総重量、空車、正味、また補正機能を有するときには、その補正内容（水分／比重／単価）など、印字データが何を示すものなのかが明確に印刷された用紙を、必ずご使用ください。

6-2　レーザープリンタによる伝票印字

ポストスクリプト対応のレーザープリンタで、Ａ４サイズの用紙に３枚の計量伝票を印刷します。印字フォーマットは固定です。ミシン目の入った市販用紙などをご利用ください。

計量証明書

平成25年12月 3日 9:11 No.1234

車 番	1234A
銘 柄	肥料ーABCDEF
業 者	飛翔興行
行 先	石川県金沢市
その他	四万十川
総重量	9:11 15980kg
空車重量	11980kg
正味重量	4000kg
補 正	10kg 5個 3%
補正正味	3830kg
比 重	0.97 $4m^3$
単 価	15円
金 額	5% 60322円
備考	サイン

埼玉県計量証明事業登録　第2013号
計量器　電気抵抗線式はかり　ひょう量 40ｔ
製造番号　XYー123456A　目　量 10kg
主任計量者　さいたま太郎

株式会社　エー・アンド・デイ

1 本社
2 東京都豊島区東池袋3ー23ー14　ダイハツ・ニッセイ池袋ビル
3 TEL03ー5391ー6126　FAX03ー5391ー6129
4 北本　開発技術センター
5 埼玉県北本市あさひ　1ー243
6 TEL048ー593ー1111　FAX048ー593ー1234
7 3456789012345678901234567890 1234
8 aandd. com

計量証明書（客先）

平成25年12月 3日 9:11 No.1234

車 番	1234A
銘 柄	肥料ーABCDEF
業 者	飛翔興行
行 先	石川県金沢市
その他	四万十川
総重量	9:11 15980kg
空車重量	11980kg
正味重量	4000kg
補 正	10kg 5個 3%
補正正味	3830kg
比 重	0.97 $4m^3$
単 価	15円
金 額	5% 60322円
備考	サイン

埼玉県計量証明事業登録　第2013号
計量器　電気抵抗線式はかり　ひょう量 40ｔ
製造番号　XYー123456A　目　量 10kg
主任計量者　さいたま太郎

株式会社　エー・アンド・デイ

1 本社
2 東京都豊島区東池袋3ー23ー14　ダイハツ・ニッセイ池袋ビル
3 TEL03ー5391ー6126　FAX03ー5391ー6129
4 北本　開発技術センター
5 埼玉県北本市あさひ　1ー243
6 TEL048ー593ー1111　FAX048ー593ー1234
7 3456789012345678901234567890 1234
8 aandd. com

計量証明書（控え）

平成25年12月 3日 9:11 No.1234

車 番	1234A
銘 柄	肥料ーABCDEF
業 者	飛翔興行
行 先	石川県金沢市
その他	四万十川
総重量	9:11 15980kg
空車重量	11980kg
正味重量	4000kg
補 正	10kg 5個 3%
補正正味	3830kg
比 重	0.97 $4m^3$
単 価	15円
金 額	5% 60322円
備考	サイン

埼玉県計量証明事業登録　第2013号
計量器　電気抵抗線式はかり　ひょう量 40ｔ
製造番号　XYー123456A　目　量 10kg
主任計量者　さいたま太郎

株式会社　エー・アンド・デイ

1 本社
2 東京都豊島区東池袋3ー23ー14　ダイハツ・ニッセイ池袋ビル
3 TEL03ー5391ー6126　FAX03ー5391ー6129
4 北本　開発技術センター
5 埼玉県北本市あさひ　1ー243
6 TEL048ー593ー1111　FAX048ー593ー1234
7 3456789012345678901234567890 1234
8 aandd. com

6-3　一覧印字

6-3-1　伝票一覧印字

Ａタイプ：カード式プリンタ（単票）

伝票一覧　平成24．　5．24
平成24／　5／22　　伝票番号　　6　　車　番　8783
業　者　　150　ＡＢＣ産業株式会社　　銘　柄　　103　一般廃棄
総重量　14：56　　2880kg　空車重量　14：57　　910kg
正味重量　　1970kg

平成24／　5／22　　伝票番号　　7　　車　番　4649
業　者　　108　中村興業　　銘　柄　　208　無筋がれき
総重量　16：54　　5170kg　空車重量　　1000kg
正味重量　　4170kg

Ｂタイプ：発行式プリンタ（連続紙）

伝票一覧　平成24．　5．24
平成24／　5／22　　伝票番号　　6
車　番　8783
業　者　　150　ＡＢＣ産業株式会社
銘　柄　　103　一般廃棄
総重量　　14：56　　2880kg
空車重量　14：57　　910kg
正味重量　　1970kg

平成24／　5／22　　伝票番号　　7
車　番　4649
業　者　　108　中村興業
銘　柄　　208　無筋がれき
総重量　　16：54　　5170kg
空車重量　　1000kg
正味重量　　4170kg

レーザープリンタ

伝票一覧 平成24. 5.24　　Page:1

平成24/ 5/22	No.　6	車　番	8783
業　者	150　ＡＢＣ産業株式会社	銘　柄	103　一般廃棄
総重量	14:56　2880 kg	空車重量	14:57　910 kg
正味重量	1970 kg		

平成24/ 5/22	No.　7	車　番	4649
業　者	108　中村興業	銘　柄	208　無筋がれき
総重量	16:54　5170 kg	空車重量	1000 kg
正味重量	4170 kg		

6-3-2　滞留車一覧印字

Ａタイプ：カード式プリンタ（単票）

```
滞留車一覧　平成24.　5.24
車　番　5656                        初回重量　 16:26          990kg
業　者　　150　ＡＢＣ産業株式会社      銘　柄　 302　危険物－薬品

車　番　7070                        総重量　　 8:40          7070kg
業　者　　 23　南区清掃センター        銘　柄　 203　粗大ゴミ－C
```

Ｂタイプ：発行式プリンタ（連続紙）

```
滞留車一覧　平成24.　5.24
車　番　5656
初回重量　　16:26          990kg
業　者　　150　ＡＢＣ産業株式会社
銘　柄　　302　危険物－薬品

車　番　7070
総重量　　　8:40          7070kg
業　者　　　23　南区清掃センター
銘　柄　　203　粗大ゴミ－C
```

レーザープリンタ

滞留車一覧 平成24. 5.24　　Page:1

車　番	5656	初回重量	16:26　　990 kg
業　者	150　ＡＢＣ産業株式会社	銘　柄	302　危険物－薬品

車　番	7070	総重量	8:40　　7070 kg
業　者	23　南区清掃センター	銘　柄	203　粗大ゴミ－C

6-3-3　車番登録一覧印字

Ａタイプ：カード式プリンタ（単票）

車番登録一覧　平成24．　5．24
車　番　32843　　　空車重量　　　500kg　　最大積載量　　　0kg
業　者　　105　北本トマト運輸　　　銘　柄　　205　古新聞

車　番　3745　　　空車重量　　　1200kg　　最大積載量　25000kg
業　者　　106　エクリプス運送　　　銘　柄　　206　産業廃棄物

Ｂタイプ：発行式プリンタ（連続紙）

車番登録一覧　平成24．　5．24
車　番　32843
空車重量　　　500kg
最大積載量　　　0kg
業　者　　105　北本トマト運輸
銘　柄　　205　古新聞

車　番　3745
空車重量　　　1200kg
最大積載量　　　25000kg
業　者　　106　エクリプス運送
銘　柄　　206　産業廃棄物

レーザープリンタ

車番登録一覧 平成24. 5.24　　　Page:1

車　番	32843	空車重量	500 kg	最大積載量	0kg
業　者	105　北本トマト運輸	銘　柄	205　古新聞		

車　番	3745	空車重量	1200 kg	最大積載量	25000kg
業　者	106　エクリプス運送	銘　柄	206　産業廃棄物		

6-3-4　名称登録一覧印字

Ａタイプ：カード式プリンタ（単票）

銘　柄登録一覧　平成２４．　５．２４

１０１	処理灰－１	１０２	普通灰－２
１０３	一般廃棄	２０１	粗大ゴミ－Ａ
２０２	粗大ゴミ－Ｂ	２０３	粗大ゴミ－Ｃ
２０４	古タイヤ	２０５	古新聞
２０６	産業廃棄物	２０７	空缶

Ｂタイプ：発行式プリンタ（連続紙）

銘　柄登録一覧　平成２４．　５．２４

１０１　処理灰－１
１０２　普通灰－２
１０３　一般廃棄
２０１　粗大ゴミ－Ａ
２０２　粗大ゴミ－Ｂ
２０３　粗大ゴミ－Ｃ
２０４　古タイヤ
２０５　古新聞
２０６　産業廃棄物
２０７　空缶

レーザープリンタ

銘　柄登録一覧 平成24. 5.24　　Page:1

101	処理灰－１	102	普通灰－２
103	一般廃棄	201	粗大ゴミ－Ａ
202	粗大ゴミ－Ｂ	203	粗大ゴミ－Ｃ
204	古タイヤ	205	古新聞
206	産業廃棄物	207	空缶

6-3-5　補正登録一覧印字

水分登録を例に示します。

Ａタイプ：カード式プリンタ（単票）

```
水分登録一覧　平成24．　5．24
車　番　6464
業　者　　　10　中央清掃センター　　　銘　柄　　　202　粗大ゴミ－B
水分　　　　　　　　　　　　　10%
　
車　番　7373
業　者　　 103　小林リサイクル　　　　銘　柄　　　204　古タイヤ
水分　　　　　　　　　　　　　12%
```

Ｂタイプ：発行式プリンタ（連続紙）

```
水分登録一覧　平成24．　5．24
車　番　6464
業　者　　　10　中央清掃センター
銘　柄　　 202　粗大ゴミ－B
水分　　　　　　　　　　　10%

車　番　7373
業　者　　 103　小林リサイクル
銘　柄　　 204　古タイヤ
水分　　　　　　　　　　　12%
```

レーザープリンタ

水分登録一覧 平成24. 5.24　　　　Page:1

車　番	6464	水分	10 %
業　者	10　中央清掃センター	銘　柄	202　粗大ゴミ－B

車　番	7373	水分	12 %
業　者	103　小林リサイクル	銘　柄	204　古タイヤ

6-4　集計印字

6-4-1　掛け合わせ１つ

車番別集計を例に示します。

Ａタイプ：カード式プリンタ（単票）

```
車番　別集計一覧
平成２４．　６．　１～平成２４．　６．　１
車番　　４１２６　　　　　　　　　　　１回　　　　１０１５０ｋｇ
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　７１０５０円
車番　　５９４５　　　　　　　　　　　１回　　　　　５３２０ｋｇ
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　１５９６００円
車番　　５９６３　　　　　　　　　　　３回　　　　１１５１０ｋｇ
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　８２３４７０円
車番　　７２５３　　　　　　　　　　　２回　　　　１３９４０ｋｇ
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　３６２４４０円
車番　　８９３１　　　　　　　　　　　１回　　　　　７５４０ｋｇ
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　８２１８６０円
```

Ｂタイプ：発行式プリンタ（連続紙）

```
車番　別集計一覧
平成２４．　６．　１～平成２４．　６．　１
車番　　４１２６
　　　　１回　　　　　　　１０１５０ｋｇ
　　　　　　　　　　　　　　７１０５０円
車番　　５９４５
　　　　１回　　　　　　　　５３２０ｋｇ
　　　　　　　　　　　　　１５９６００円
車番　　５９６３
　　　　３回　　　　　　　１１５１０ｋｇ
　　　　　　　　　　　　　８２３４７０円
車番　　７２５３
　　　　２回　　　　　　　１３９４０ｋｇ
　　　　　　　　　　　　　３６２４４０円
車番　　８９３１
　　　　１回　　　　　　　　７５４０ｋｇ
　　　　　　　　　　　　　８２１８６０円
```

レーザープリンタ

車番別集計一覧印字
平成24. 6. 1 ～ 平成24. 6. 1

車番	累計回数	累計重量	累計金額
4126	1回	10150kg	71050円
5945	1回	5320kg	159600円
5963	3回	11510kg	823470円
7253	2回	13940kg	362440円
8931	1回	7540kg	821860円

6-4-2　掛け合わせ２つ

車番別業者別集計を例に示します。

レーザープリンタ

車番別業者別集計一覧印字
平成24. 6. 1 ～ 平成24. 6. 1

車番	業者	名称	車番別回数	個別累計回数	車番別重量	個別累計重量	車番別金額	個別累計金額
4126	107	野呂商事	1回	1回	10150kg	10150kg	71050円	71050円
5945	109	島田組	1回	1回	5320kg	5320kg	159600円	159600円
5963	107	野呂商事	3回	1回	11510kg	4190kg	823470円	289110円
	109	島田組		2回		7320kg		534360円
7253	105	北本トマト運輸	2回	1回	13940kg	12390kg	362440円	322140円
	111	古川土建		1回		1550kg		40300円
8931	113	夕日エンジニアリング	1回	1回	7540kg	7540kg	821860円	821860円

6-4-3　掛け合わせ３つ

車番別業者別銘柄別集計を例に示します。

レーザープリンタ

車番別業者別銘柄別集計一覧印字
平成24. 6. 1 ～ 平成24. 6. 1

車番	業者	名称	銘柄	名称	個別累計回数	個別累計重量	個別累計金額
4126	107	野呂商事	207	空缶	1回	10150kg	71050円
5945	109	島田組	103	一般廃棄	1回	5320kg	159600円
5963	107	野呂商事	209	有筋がれき	1回	4190kg	289110円
	109	島田組	209	有筋がれき	2回	7320kg	534360円
7253	105	北本トマト運輸	211	アスファルト	1回	12390kg	322140円
	111	古川土建	211	アスファルト	1回	1550kg	40300円
8931	113	夕日エンジニアリング	213	堆肥	1回	7540kg	821860円

7 エラーメッセージ

エラー発生時はダイアログ中の画面中央に、エラーメッセージを表示します。

7-1 起動時のエラーメッセージ

メッセージ	説明
「カードリーダプリンタが未接続です！」 「確認ボタンを押してください。」	起動時にカードリーダプリンタの未接続を検出した場合に表示します。 確認 ボタンを押せば計量可能です。(カードリーダプリンタを使用する設定時のみです。)
「カードリーダプリンタの印字用紙がありません！」 「確認ボタンを押してください。」	起動時にカードリーダプリンタの紙無しを検出した場合に表示します。 確認 ボタンを押せば計量可能です。(カードリーダプリンタを使用する設定時のみです。)
「計量禁止日です。」 「計量を行うにはパスワードの入力が必要になります。」	設定された計量禁止日に起動した場合に表示します。設置業者にお問い合わせください。
「データベース読出しエラーです。」 「確認ボタンを押してください。」	起動時にデータベースの読出しでエラーが発生した場合に表示します。連続して発生するようでしたら修理依頼をしてください。

7-2 計量伝票発行時のエラーメッセージ

メッセージ	説明
「ひょう量オーバーです。」 (最下行のメッセージ欄)	重量値がひょう量を超えると表示します。重量値がひょう量以下になると通常のメッセージに戻ります。
「車番登録がありません。」 「確認ボタンを押してください。」	車番入力時に車番登録が無い場合に表示します。車番登録が必要な設定時のみです。
「項目コードが未入力です。」 「確認ボタンを押してください。」	項目コード未入力で 設定 ボタンを押したときに表示します。コード入力が必要な設定時のみで
「名称登録がありません。」 「確認ボタンを押してください。」	入力したコード番号の名称が未登録なときに表示します。名称登録が必要な設定時のみで
「過積載です。」 「積荷を降ろして、確認ボタンを押してください。」	総重量または正味重量が最大積載量を超えたときに表示します。総重量か空車重量、過積載後の動作は計量機能で設定変更可能で
「カードリーダプリンタの印字が異常です！」 「確認ボタンを押してください。」	カードリーダプリンタの印字に異常が発生した場合に表示します。プリンタユニットの不良の可能性があります。
「カードリーダプリンタの印字用紙がありません！」 「確認ボタンを押してください。」	カードリーダプリンタの印字用紙の残りが少なくなった場合に表示します。
「計量値が負なので計量できません！」 「確認ボタンを押してください。」	重量値が負の状態で車番入力または 設定完了 、 印字 ボタンを押したときに表示します。
「総重量入力がひょう量を超えています！」 「確認ボタンを押してください。」	総重量の入力値がひょう量を超えている場合に表示します。
「空車重量入力がひょう量を超えています！」 「確認ボタンを押してください。」	空車重量の入力値がひょう量を超えている場合に表示します。
「空車重量入力が目量切替重量を超えています！」 「確認ボタンを押してください。」	空車重量の入力値が目量切替重量を超えている場合に表示します。
「空車重量入力が総重量を超えています！」 「確認ボタンを押してください。」	空車重量の入力値が総重量を超えている場合に表示します。
「計量値が空車重量登録値より小さいです！」 「確認ボタンを押してください。」	計量値が空車重量登録値より小さい場合に表示します。

「印字用紙をセットして確認ボタンを押してください。」	印字 ボタンを押したときにＡタイププリンタに印字用紙がセットされていない場合に表示します。（登録・集計印字も共通）
「日計元帳がいっぱいなので登録できません！」 「確認ボタンを押してください。」	伝票発行時に日計元帳件数が１万件の場合に表示します。日計元帳がいっぱいの場合は新規伝票の登録はできませんが伝票発行は可能です。
「日計元帳の残りが少なくなりました。」 「不要なデータを削除してください。」 （数秒間）	伝票発行時に日計元帳件数が９５００件以上になると表示します。日計元帳がいっぱいになる前に不要な伝票を削除してください。
「滞留車メモリがいっぱいなので登録できません！」 「確認ボタンを押してください。」	計量時に滞留車メモリが５００件の場合に表示します。滞留車メモリがいっぱいになると滞留車メモリに無い車番での２回計量ができなくなります。
「滞留車メモリの残りが少なくなりました。」 「不要なデータを削除してください。」 （数秒間）	計量時に滞留車件数が４５０件以上になると表示します。滞留車メモリがいっぱいになる前に不要な滞留車データを削除してください。
「車番登録メモリがいっぱいなので登録できません！」 「確認ボタンを押してください。」	計量時に車番登録メモリが４０００件の場合に表示します。滞留車から車番登録を行う設定のときのみです。
「車番登録メモリの残りが少なくなりました。」 「不要なデータを削除してください。」 （数秒間）	計量時に滞留車件数が３９００件以上になると表示します。滞留車から車番登録を行う設定のときのみです。

7-3　登録時のエラーメッセージ

（車番登録）

「空車重量がひょう量を超えています！」 「確認ボタンを押してください。」	空車重量の入力値がひょう量を超えている場合に表示します。
「空車重量が目量切替重量を超えています！」 「確認ボタンを押してください。」	空車重量の入力値が目量切替重量を超えている場合に表示します。
「最大積載量がひょう量を超えています！」 「確認ボタンを押してください。」	最大積載量の入力値がひょう量を超えている場合に表示します。
「車番登録がいっぱいなので登録できません！」 「確認ボタンを押してください。」	車番登録が４０００件の場合に表示します。
「同じ車番の登録があります！」 「確認ボタンを押してください。」	車番登録変更時に既に登録してある車番を入力したときに表示します。

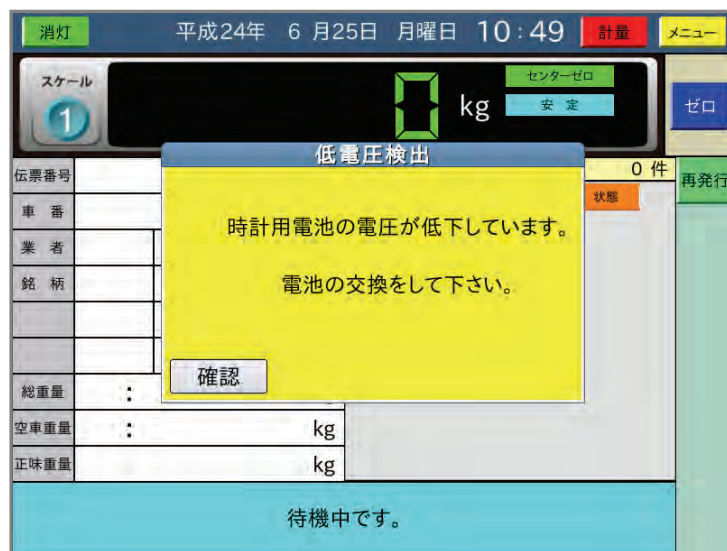
（名称登録）

「名称登録がいっぱいなので登録できません！」	各名称登録が１０００件の場合に表示します。
「同じコード番号の名称登録があります！」	名称登録変更時に既に登録してあるコード番号を入力したときに表示します。

（補正登録）

「水分（または比重、単価）登録がいっぱいなので登録できません！」	各補正登録が１０００件の場合に表示します。
「同じ車番／コード番号の登録があります！」	補正録変更時に既に登録してある車番／コード番号を入力したときに表示します。 補正登録を行う際の車番、項目コードの組み合わせは内部設定にて設定します。

7-4　時計バックアップバッテリ交換のメッセージ

本器の時計をバックアップするバッテリが低下し交換時期にくると、交換を促すダイアログを表示します。きれるまで数週間以上の猶予はありますのでその間にバッテリの交換を依頼ください。
確認 ボタンを押すと通常通りに使用可能です。表示している日時は念のため確認ください。
バックアップバッテリは時計をバックアップしています。計量データ、登録データへの影響はありません。万が一にバッテリが切れた状態では日時を合わせた上でご使用ください。　時計バックアップバッテリの寿命は約１０年です。

8　音声ガイダンス

音声ガイダンスの一覧を以下に示します。
全ての音声ガイダンスは個別に男性の声、女性の声、未使用が設定可能です。
トラック乗車時は効果音のみの設定が可能です。

タイミング	音声ガイダンスの内容
起動時	「計量物が何も載っていないのを確認し、ゼロ ボタンを押してください。」
トラック乗車	＜ピンポン＞「トラックが乗車しました。」
２回計量１回目で必要な入力終了	「入力が終了しました。設定完了または印字用紙をセットして 空車 、総重 ボタンを押してください。」
伝票発行待ち	「入力が終了しました。印字用紙をセットして 印字 ボタンを押してください。」
降車待ち	「計量完了しました。降車してください。」
過積載	＜エラー音＞「過積載です。積荷を降ろしてください。」
ひょう量オーバー	＜エラー音＞「ひょう量オーバーです。」

９外観図

単位：ｍｍ